VIDEO CASSETTE RECORDER

HR-D2

はじめに

再生・録画

タイマー予約

便利な使いかた

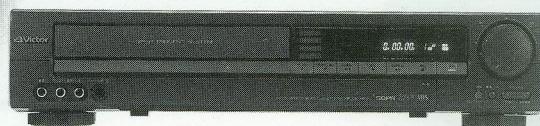
編集

設置

その他

取扱説明書

●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、
またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が
一致しているか、お確かめください。

主な特長　□内の数字が参照ページです。

●48～49ページの**使用上のご注意**を読んでから操作してください。

ご自分で設置されるかたは

38ページから47ページをお読みいただき

など必要な準備/設定をしてください。

取扱説明書の見かた

この説明書では、各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるか左上にイラストでお知らせしています。

リモコンで操作できます。

本体で操作できます。

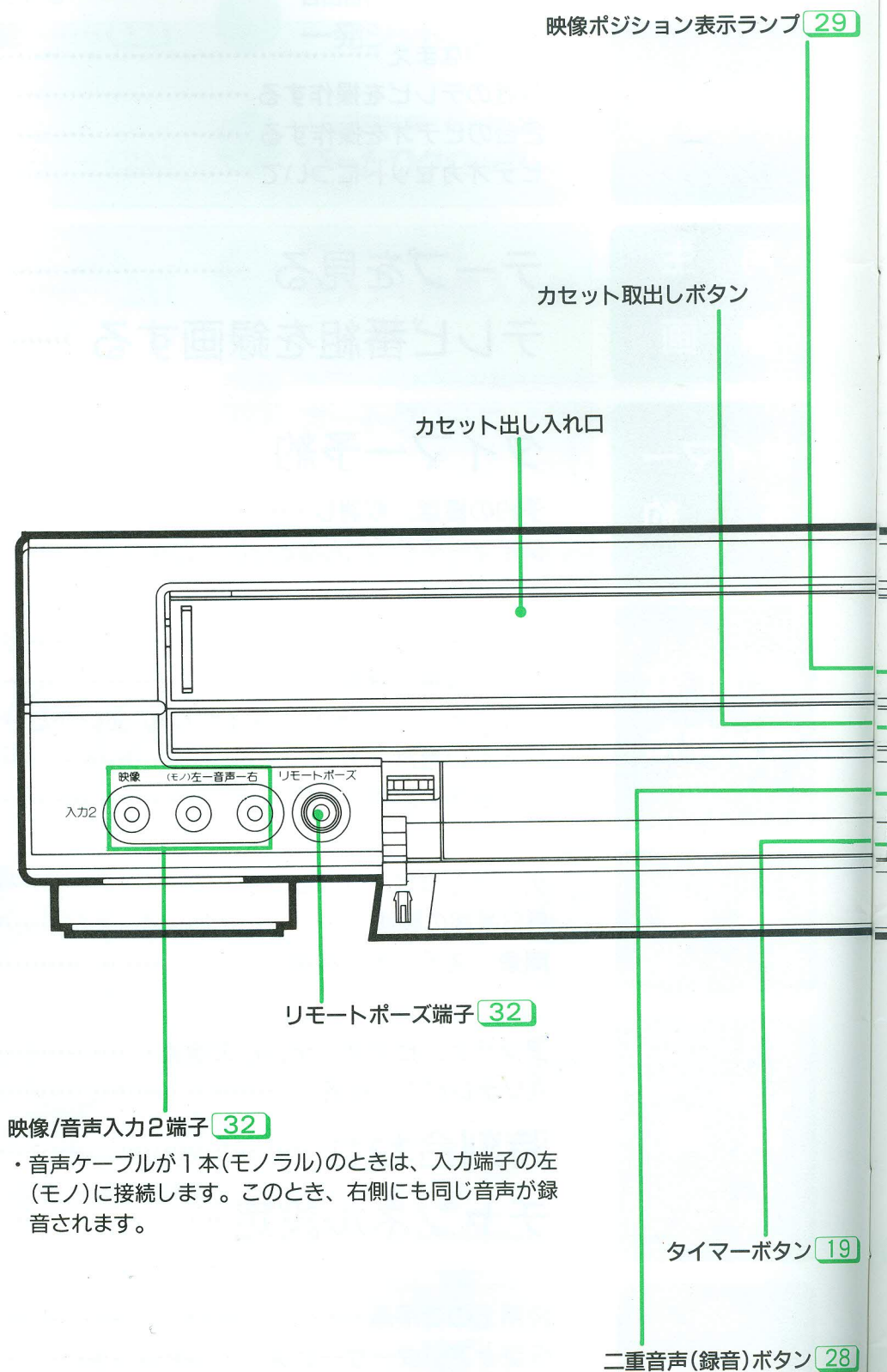
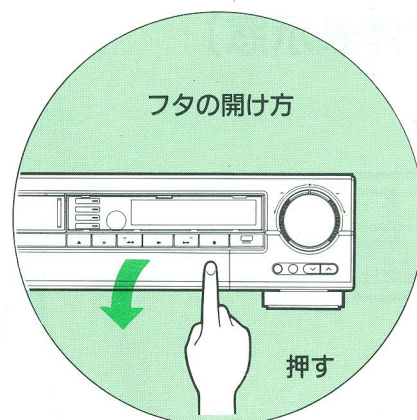
もくじ

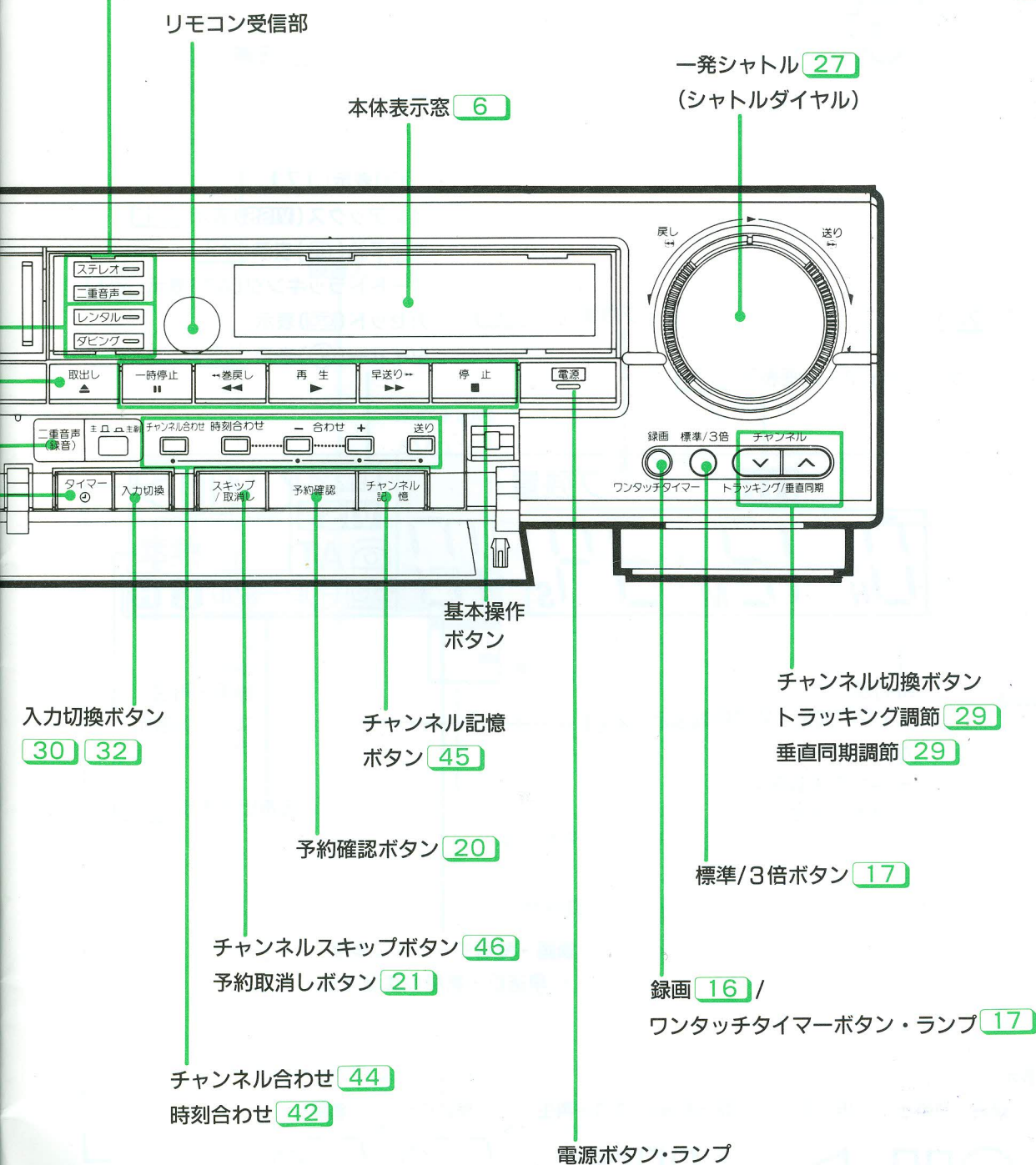
□内の数字が参照ページです。

各部のなまえ

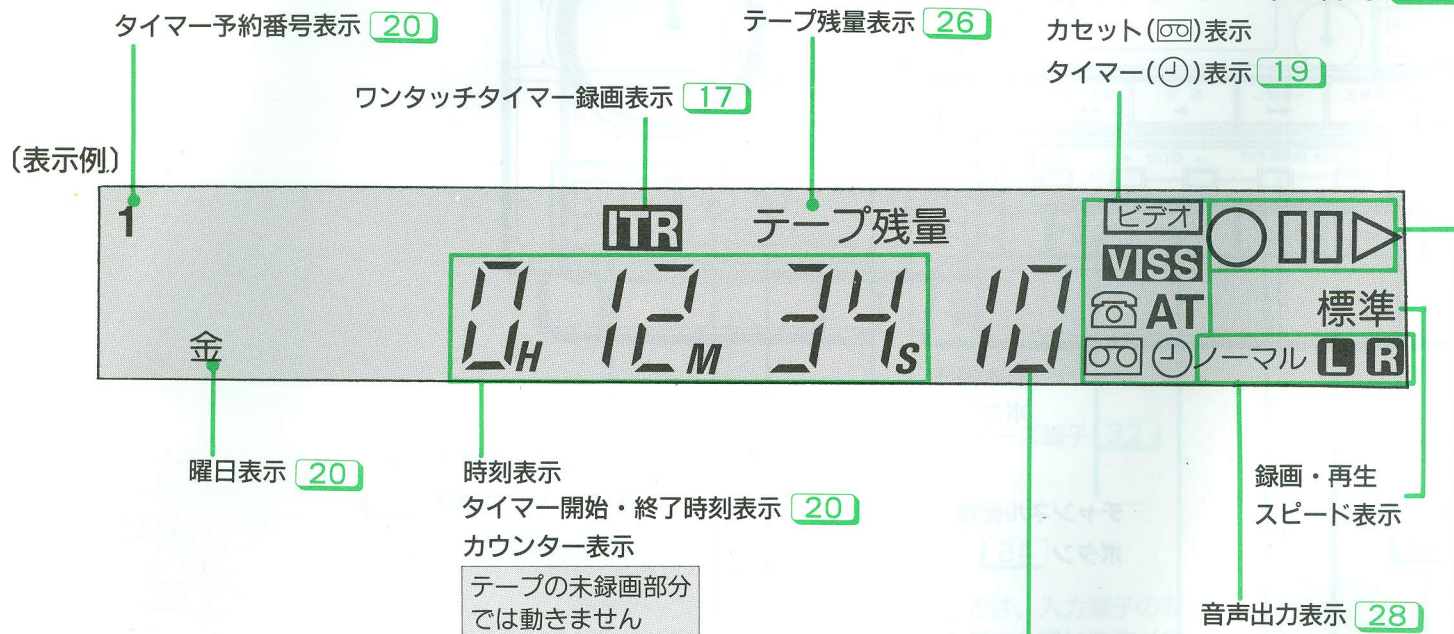
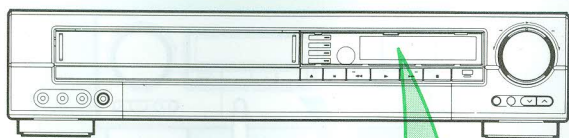
▭内の数字が参照ページです。

〔本体前面〕

・音声ケーブルが1本（モノラル）のときは、入力端子の左（モノ）に接続します。このとき、右側にも同じ音声が録音されます。

フタの開け方
押す
音声受信表示ランプ
・ステレオ放送を受信するとステレオランプ、二重音声放送を受信すると二重音声ランプが点灯します。
リモコン受信部
本体表示窓 6
一発シャトル 27
(シャトルダイヤル)
戻し
送り
ステレオ
二重音声
レンタル
ダビング
取出し
一時停止
巻戻し
再 生
早送り
停 止
電源
二重音声(録音)
チャンネル合わせ 時刻合わせ
− 合わせ +
送り
タイマー
入力切換
スキップ/取消し
予約確認
チャンネル記憶
録画 標準/3倍
チャンネル
ワンタッチタイマー
トラッキング/垂直同期
基本操作ボタン
入力切換ボタン 30 32
チャンネル記憶ボタン 45
チャンネル切換ボタン
トラッキング調節 29
垂直同期調節 29
予約確認ボタン 20
標準/3倍ボタン 17
チャンネルスキップボタン 46
予約取消しボタン 21
録画 16 /
ワンタッチタイマーボタン・ランプ 17
チャンネル合わせ 44
時刻合わせ 42
電源ボタン・ランプ

はじめに

各部のなまえ（つづき）

□内の数字が参照ページです。

〔本体表示窓〕

テープ走行表示

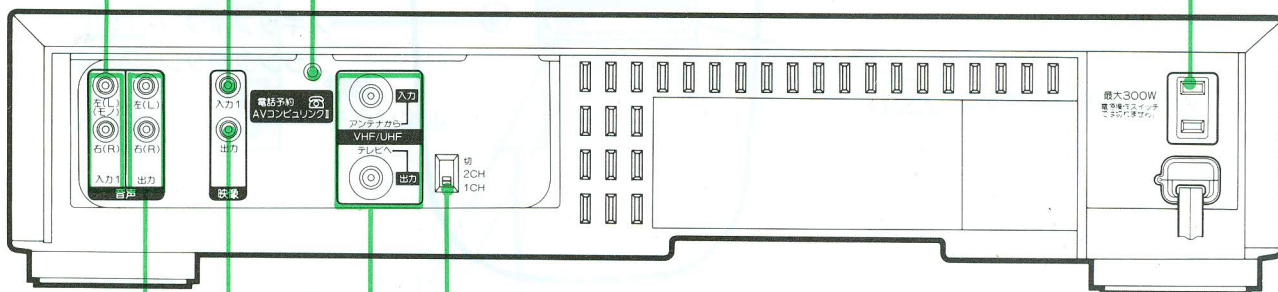
録　画	録画一時停止	再　生	静止画再生/スロー再生	早送り	巻戻し
○	○▯▯	▷	▯▯▷	(時計回り)	(反時計回り)

〔背面〕

電源コンセント

・他のビデオやBSデコーダなどの電源プラグを差し込みます。常時、通電しています。
消費電力は300W以下です。

音声入力１端子 30 33

・音声ケーブルが１本(モノラル)のときは、入力端子の左(L)に接続します。このとき、右側にも同じ音声が録音されます。

各部のなまえ（つづき）

 内の数字が参照ページです。

〔リモコン〕

●フタを閉めた状態

ビデオ電源ボタン

カセット取出しボタン

テレビ操作ボタン 10

カウンターリセットボタン 25

カウンター/残量/時計表示切換ボタン 26

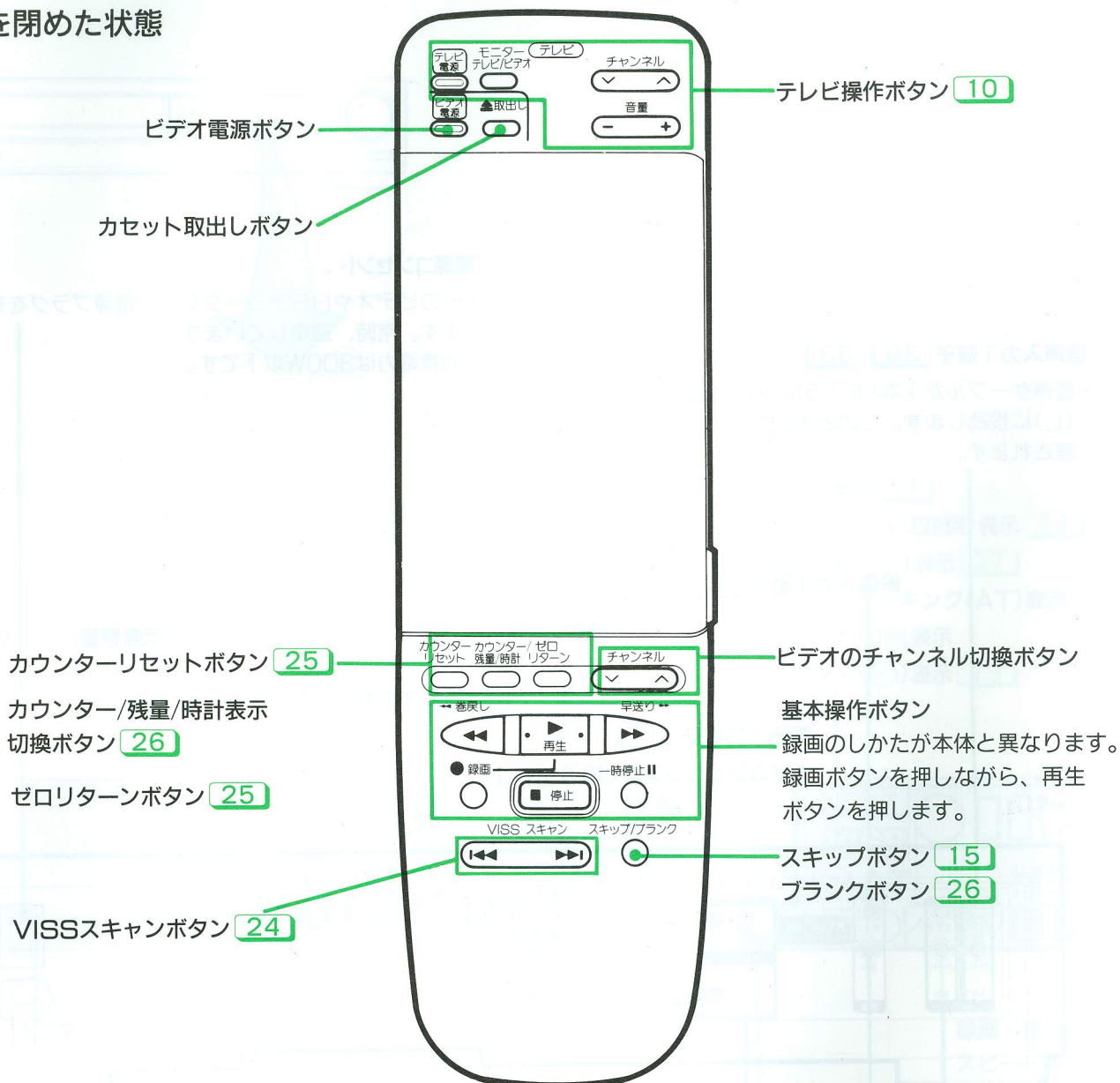
ゼロリターンボタン 25

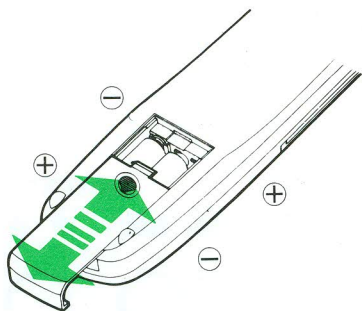
VISSスキャンボタン 24

ビデオのチャンネル切換ボタン

基本操作ボタン
録画のしかたが本体と異なります。
録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押します。

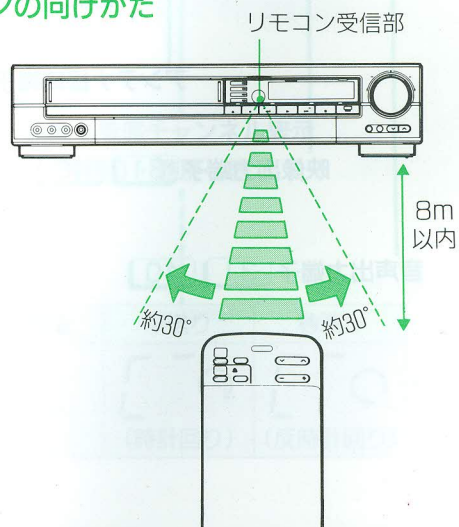
スキップボタン 15

ブランクボタン 26

乾電池の入れかた

・乾電池（単3）を2本入れます。

リモコンの向けかた

〔リモコン〕

● フタを開けた状態

フタの開け方

リモコンA/Bコード切換ボタン 11

テレビ/ビデオ切換ボタン 17

リモコン表示窓
〔表示例〕

予約番号

予約する曜日

開始時刻

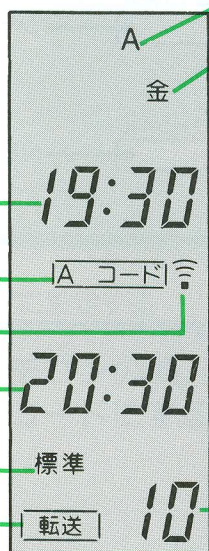
リモコン
送信コード

送信表示

終了時刻

録画
スピード

転送表示

録画
チャンネル

リモコン表示窓の
予約取消しボタン 19

タイマー予約設定ボタン 18

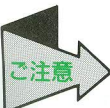
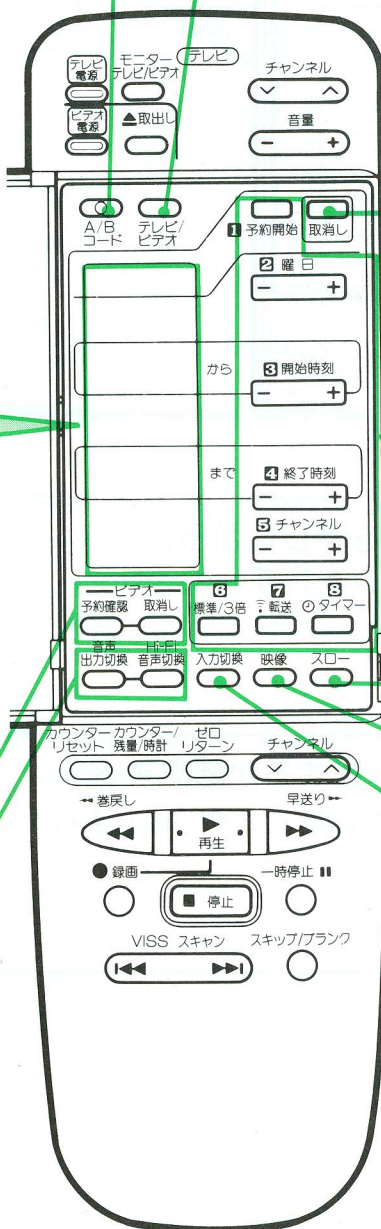
スローボタン 15

映像ポジションボタン 29

入力切換ボタン 30 32

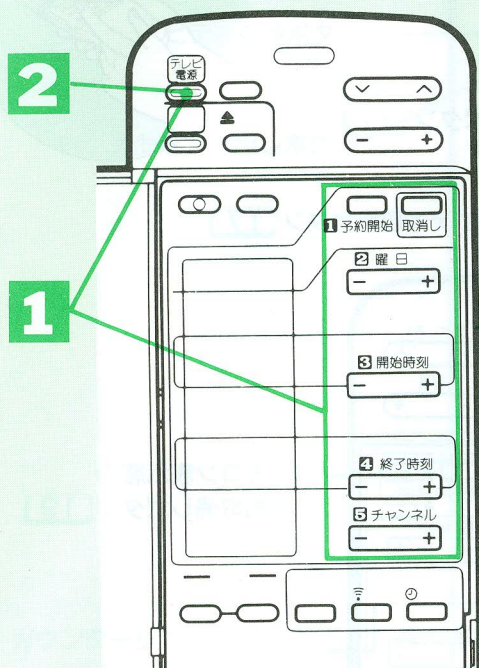
ビデオ本体の予約確認・取消しボタン 20

音声出力切換ボタン 28

Hi-Fi音声切換ボタン 28

・電池交換後はテレビのメーカー指定をもう一度やり直してください。（10ページ参照）
・リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。
・乾電池は2本とも新しいものと交換してください。使用した乾電池と混ぜて使用しないでください。
・単3乾電池（UM-3型）をご使用ください。
・乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
・長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
・乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
・リモコン操作ができる距離が短くなったり、リモコン表示窓がうすくなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

他社のテレビを操作する

TVマルチブランドリモコン

国内メーカー10社のテレビ操作（電源の入・切、チャンネル、音量、入力切換）ができます。
ご購入時は、ビクター製テレビの指定になっています。

1 テレビ電源ボタンを押しながら、メーカー指定ボタンを押す

2 テレビの電源が入/切するか確認する

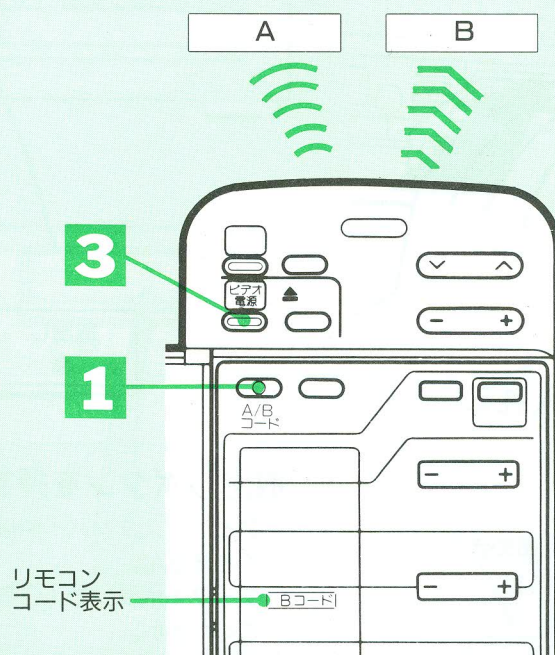
・チャンネル、音量、入力切換もできるか確認します。

・まちがえたときは、もう一度設定し直してください。
・電池交換後はテレビのメーカー指定をもう一度やり直してください。

・テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

2台のビデオを操作する

本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する　リモコンコード切換

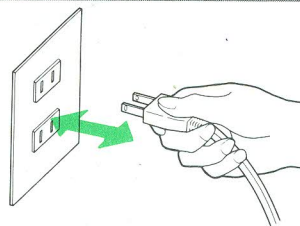
リモコン操作すると、２台が同時に同じ動きをしてしまい、ビデオ操作がうまくいかないことがあります。
本機は、リモコンコードを別に設定し、１つのリモコンで２台のビデオを別々に操作することができます。

(例) Bコードに設定する

リモコン表示窓

リモコンのA/Bコード切換ボタンで Bコードにする

Bコード

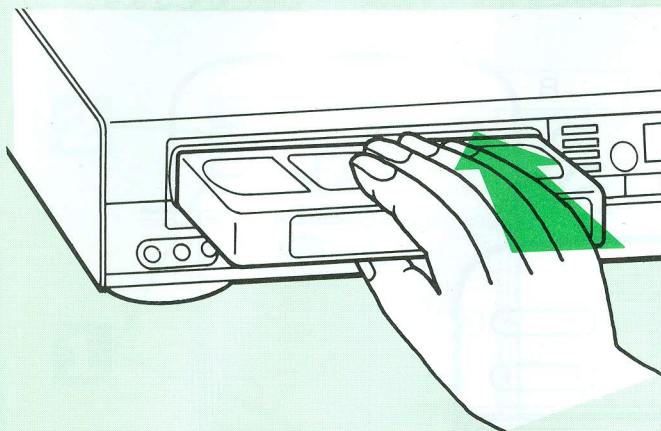
本機の電源プラグを一度抜き、再度差し込む

・ビデオが覚えているAコードの記憶を消すためです。

3 リモコンのビデオ電源ボタンを押す

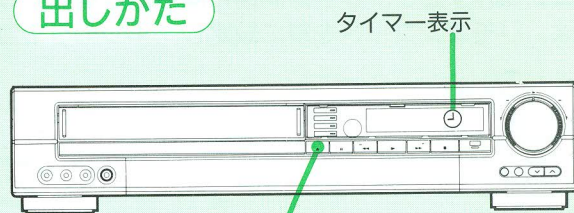
・Bコードに設定されました。

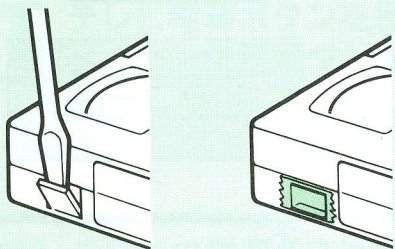
ビデオカセットについて

カセットの出し入れ

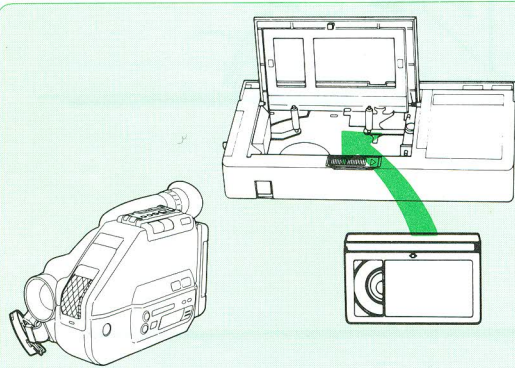
入れかた

テープの見える面を上にして入れる

- 電源が入ります。(オートパワーオン)
- カウンターが、0. 00. 00. になります。(オートカウンターリセット)
- つめのないカセットを入れると、再生を始めます。(オートプレイ)

出しかた

取出しボタンを押す

- タイマースタンバイ中は、テープを取り出すことはできません。
  タイマーボタンで ◷ 表示を消してから、取り出してください。

大切なテープを消さないために

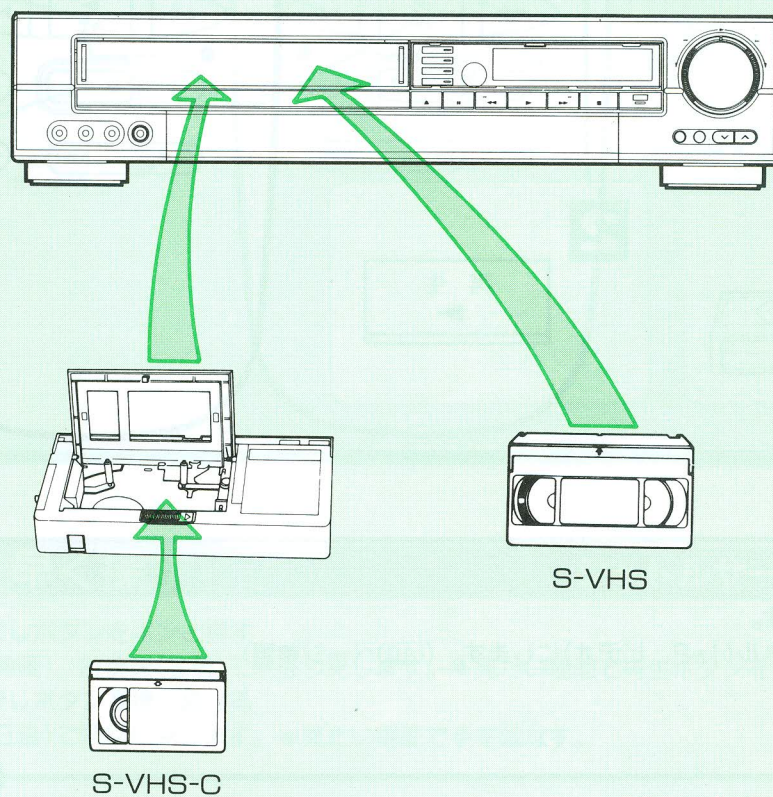
つめ(誤消去防止用)を折って、取りのぞいてください。

ふたたび録画したいときは、セロハンテープを2重に貼ってください。

ビデオムービーで録画した VHS C テープを見るには

別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。

- カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。
  特に小さなお子様にはご注意ください。

S-VHS録画したテープを見る

本機は、S-VHS簡易再生機能(SQPB)付です。
S-VHSで録画されたテープを簡易的に見ることができます。
(SQPB:S-VHS Quasi(クワジ) Play(プレイ) Back(バック)の略です。)

・S-VHS本来の高解像度、高画質は得られません。
・本機では、S-VHS録画はできません。

再生

テープを見る

停止ボタン

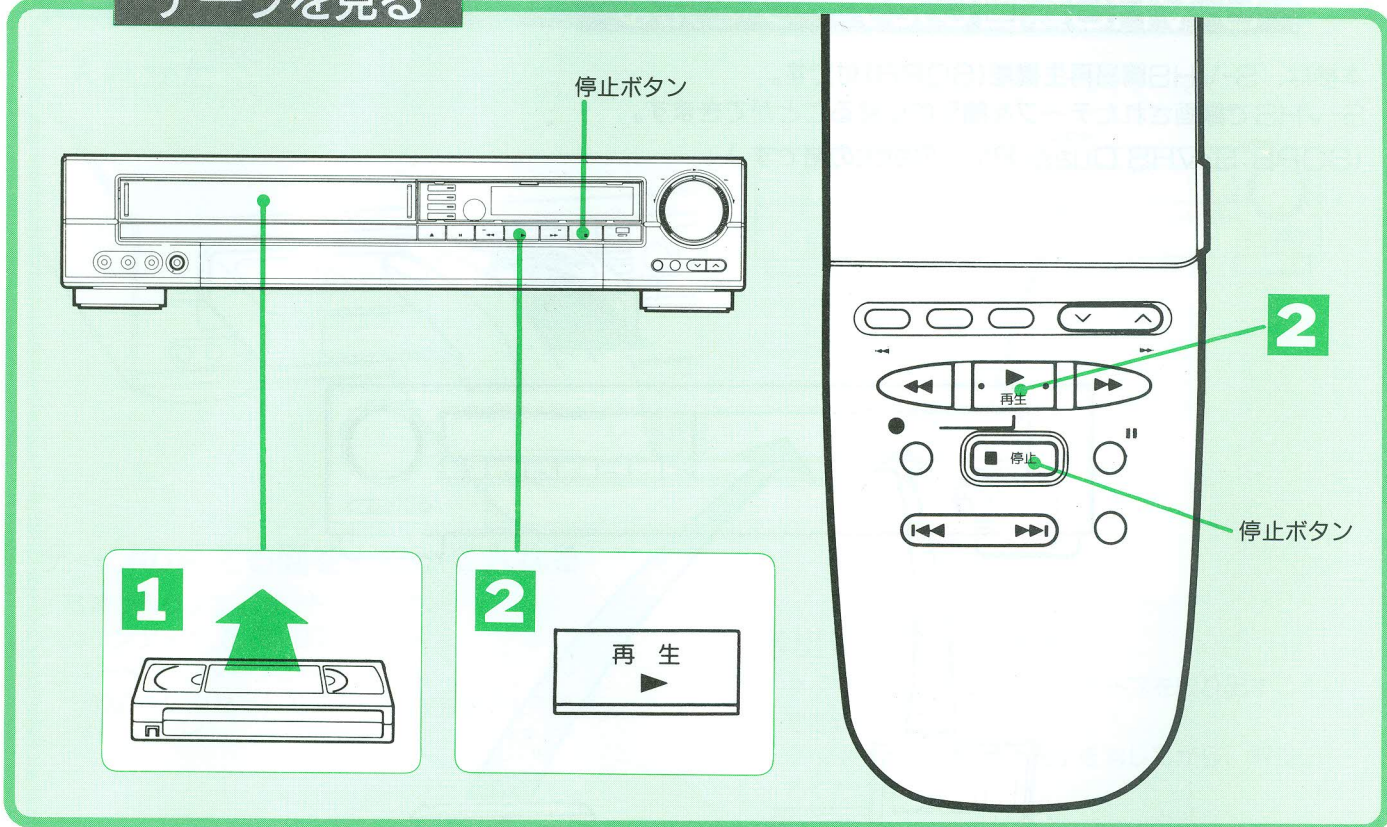
1

2

再生

停止ボタン

2

再　生
▶

準備　テレビの準備

❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。(40ページ参照)

1 テープを入れる

・電源が入ります。
・つめのないテープを入れると再生を始めます。

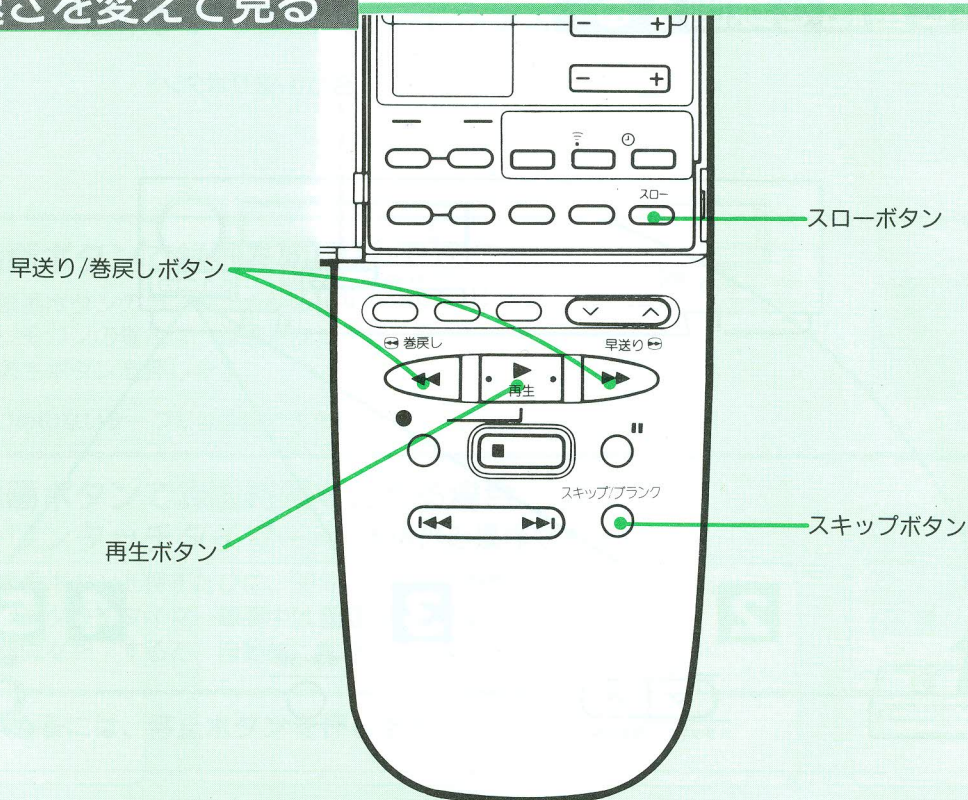
再生ボタンを押す

・再生が始まります。

■再生をやめるには、**停止ボタンを押します。**

・再生を始めると、トラッキングを自動的に調節します。
・テープがなくなると、自動的に巻き戻します。(オートリワインド)
・動きを止めるには一時停止ボタンを押します。再生ボタンで戻します。
一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります。

速さを変えて見る

スローボタン
早送り/巻戻しボタン
巻戻し
早送り
再生
スキップ/ブランク
再生ボタン
スキップボタン

見たい場面を早く探す　シャトルサーチ再生

・再生中に早送りまたは巻戻しボタンをポンと押す
　7倍速(標準スピードで録画)、21倍速(3倍)で飛ばし見します。➡見たい場面で再生ボタンを押す。
・再生中に早送りまたは巻戻しボタンを押し続ける
　7倍速(標準)、13倍速(3倍)で飛ばし見します。➡見たい場面で手をはなす。

CMを飛ばす　スキップサーチ

・再生中に、スキップボタンを1回押すと30秒ぶんを早送り再生します。
・押すたびに30秒刻みで最大2分(4回押す)まで飛ばし見できます。
・再生ボタンで戻します。

動きを遅くするには　スロー再生

・スローボタンを押します。
・1/6倍速でスロー再生します。
・再生ボタンで戻します。

・シャトルサーチ再生、スキップサーチ、スロー再生中は音声が出ません。
・スロー再生中にノイズが出るときは、本体の合わせボタンでスロートラッキング調節ができます。

録画

テレビ番組を録画する

合わせ/送りボタン

1

2
チャンネル
トラッキング/垂直同期

3
標準/3倍

4 5
録画
ワンタッチタイマー

準備 テレビの準備

❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。(40ページ参照)

本体表示窓

1 テープを入れる

・つめがあることを確認します。(12ページ参照)

2 チャンネルボタンでチャンネルを選ぶ

・録画を始めるとインデックス(頭出し信号)を書き込みます。番組の頭出しに使用します。(24ページ参照)
・一時停止を5分続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・テープがなくなると、自動的に巻き戻します。
・ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にカセットが出てきます。
・録画時間を設定していない場合は、電源は切れません。
・AV接続とは、付属のビデオ、オーディオケーブルを使ってテレビとビデオを接続する方法です。(40ページ参照)

標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

録画ボタンで録画を始める

・録画ボタンのランプが点灯します。
・リモコンの場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

つめのないテープには録画できません。

5 録画ボタンで録画時間をきめる場合 ～ワンタッチタイマー～(本体のみ操作できます)

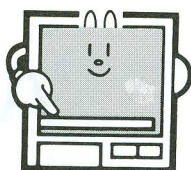
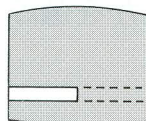
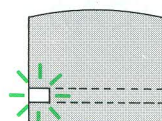
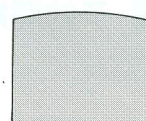
・録画ボタンを押すたびに、30分刻みで、4時間まで設定できます。
・ワンタッチタイマー録画中は ITR 表示が点滅します。
・録画を終了すると、自動的に電源が切れます。

ITR 2:00

■録画をやめるには、停止ボタンを押します。

録画を一時的に止めるには一時停止ボタンを押します。

・再生ボタンで、また録画を始めます。

録画一時停止が自動解除されるまでの5分間を横帯の長さで表示します。

2～3分たつと、横帯が短くなる。

約5分たつと、さらに短くなり、点滅します。

そして、ついに消えて、停止します。

録画中に別の番組を見るには

❶リモコンのテレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を消します。
・AV接続の場合は、テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にします。

❷テレビ側のチャンネル切換で、見たい番組にします。
・録画には影響しません。

AVコンピュリンクⅡ

BS番組を録画するには

(AVコンピュリンクⅡ機能を使って)

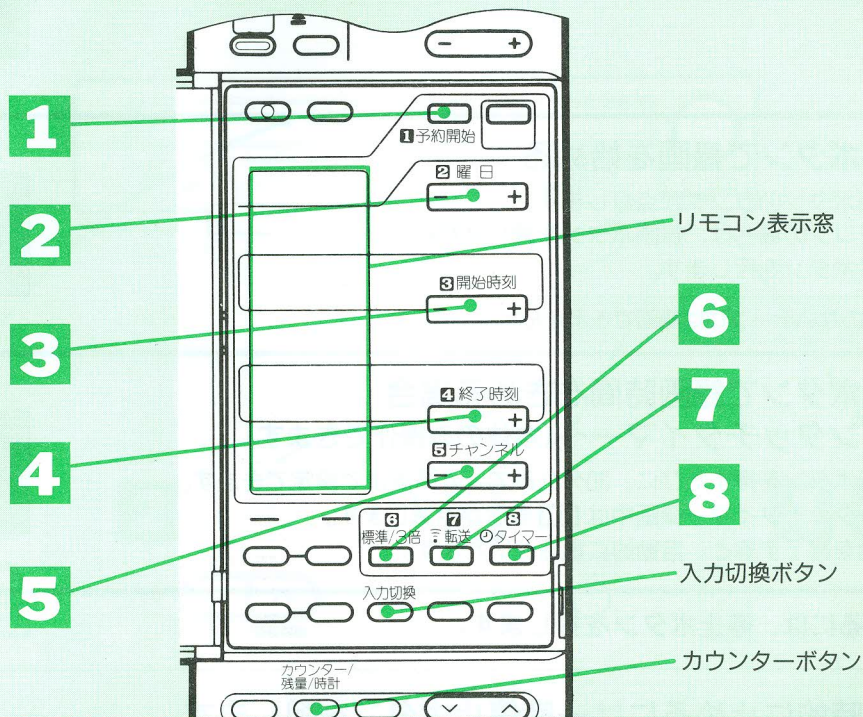
❶接続と設定をします。(34 ページ参照)

❷ビデオのチャンネルボタンで録画したいBSチャンネルに合わせ、録画します。

・録画時間を4時間以上または分刻みで合わせたいときは
(例)録画時間を5時間15分にする
❶ 5 の操作後、送りボタンを押します。
(以後10秒以内に各操作を行います)
❷合わせボタンで5(時間)にします。
❸送りボタンを押します。
❹合わせボタンで15(分)にします。
❺送りボタンを押します。(設定完了)
・最大9時間59分まで設定できます。

タイマー予約

リモコンでタイマー予約する

リモコンに予約を入れ、本体へ転送します。リモコンには4番組まで記憶できます。
本体でタイマー予約の設定はできません。本体では、リモコンから転送された予約を8番組まで記憶し、予約の確認と取消しができます。

(例)木曜日 午後5時から6時まで、10チャンネルを3倍モードで予約します。

準備 ❶つめのついたカセットを入れます。
❷カウンターボタンを押して、現在時刻を確認します。

1 予約開始

予約開始ボタンでAからDのどれかを選ぶ

A

2 曜日

曜日ボタンを押す

・毎日または毎週予約をする場合、－ボタンを押し続けると早く呼び出せます。
(23ページ参照)

3 開始時刻

開始時刻ボタンを押す

・押し続けると、　30分刻みで変わります。
・1回づつ押すと、1分刻みで変わります。

❸開始時刻

夜の番組を予約するとき(12～24時)－ボタンを押します。

深夜または午前中の番組を予約するとき(0～12時)＋ボタンを押します。

4 終了時刻

終了時刻ボタンを押す

・押し続けると、 30分刻みで変わります。
・1回づつ押すと、1分刻みで変わります。

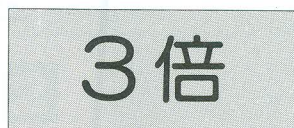
5 チャンネル

チャンネルボタンを押す

・早く呼び出すときは、押し続けます。
・外部入力を予約するときは、入力切換ボタンでLにします。

6 録画スピード

標準/3倍ボタンを押す

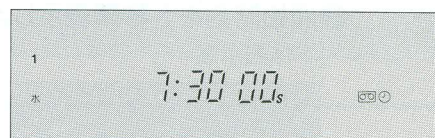
3倍

7 **転送ボタン**で、本体へ転送します。

本体表示窓

・リモコンに表示している予約(1番組)が転送されます。
・本体が正しく受け取ると、本体表示窓に予約内容を表示します。
・開始・終了時刻を別々に5秒間ずつ表示します。
・さらに予約したいときは、1～7の操作をくり返します。

設定が終わったら

8 **タイマーボタン**で、タイマースタンバイにする

・◷表示が点灯し、電源が切れます。

これで準備OKです

リモコンの予約を取消すには

❶予約開始ボタンで、取消す予約を出します。
❷取消しボタンで、取消します。

本体へ転送した予約を取消すには

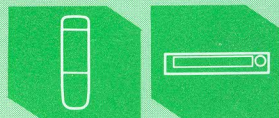
21ページをご覧ください。

AVコンピュリンクII

BS番組をタイマー録画するには

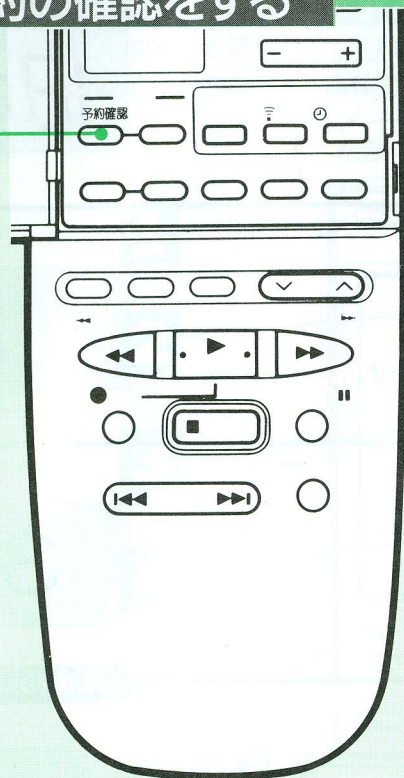
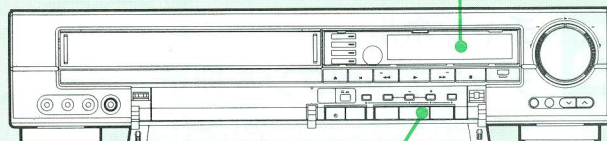
(AVコンピュリンクII機能を使って)

❶接続と設定をします。(34ページ参照)
❷上記1～8の操作と同じように、タイマー予約を設定します。
・チャンネルは録画したいBSチャンネルに合わせます。
※テレビの主電源を入にすることを忘れないでください。

・本体へ転送したとき、本体表示窓に"Err"を表示したら、
❶時刻合わせが行われていない
❷誤った予約を転送した
・本体へ転送したとき、本体表示窓に"FULL"を表示したら、
本体の予約がいっぱい
このような場合は、予約内容をもう一度確認し、正しく転送をやり直してください。

タイマー予約(つづき)

予約の確認をする

予約確認

1

本体表示窓

1

予約確認

1 予約確認ボタンで予約内容を確認する

・予約確認ボタンを押すと
❶開始時刻を５秒間表示します。
本体表示窓

自動的に

❷終了時刻を５秒間表示します。

自動的に

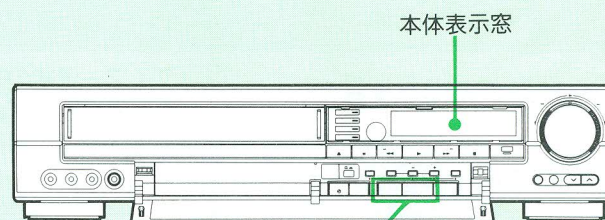
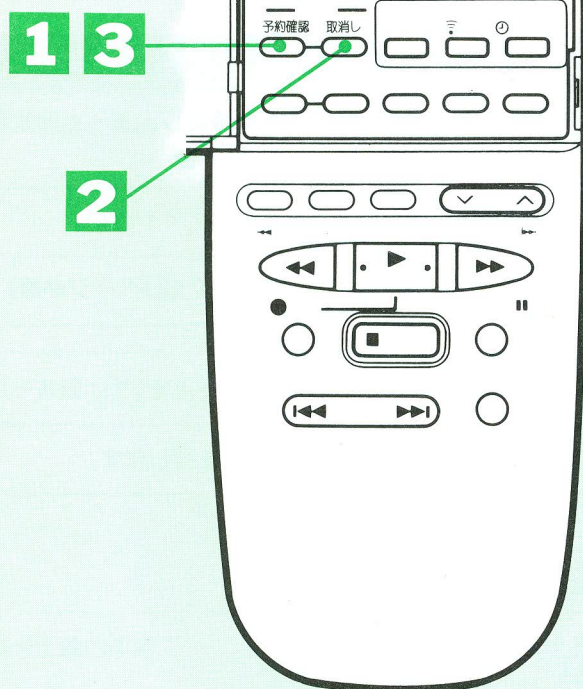
❸開始時刻を50秒間表示します。

自動的に

❹カウンターまたは時計表示に戻ります。

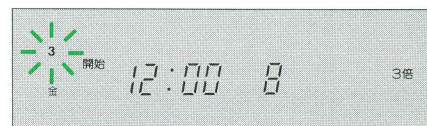
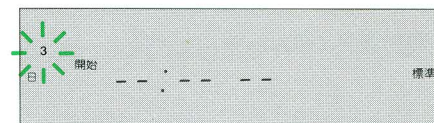
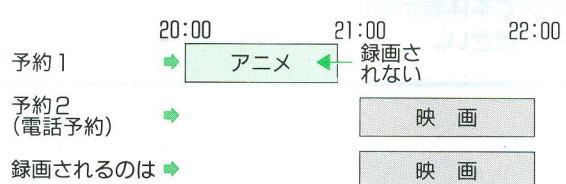
2番目以降を確認するときは
１番目の予約内容を表示中に**予約確認ボタン**を押します。
予約確認ボタンを押すごとに次の予約を表示します。

予約表示中にカウンターまたは時計表示に戻すには
カウンターまたは時計表示に戻るまで**予約確認ボタン**を押します。

予約を取消す

・本体表示窓に◴が表示しているときは、タイマーボタンで◴表示を消します。

本体表示窓

1 予約確認ボタンで予約内容を表示する

・予約確認ボタンで取消したい予約番号を点滅させます。

2 取消しボタンで予約を取消す

3 カウンターまたは時計表示に戻るまで予約確認ボタンを押す

・タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンで本体表示窓に◴を表示させてください。

タイマー予約

予約の確認／取消し

タイマー予約(つづき)

タイマー予約のこんなときは/Q&A

こんなときは	こうしてください
本体表示窓のが点滅する	タイマー予約の設定にまちがいがあるので、予約内容を確認し、正しく設定をやり直してください。
本体表示窓のとが点滅する	カセットが入っていません。つめのついたカセットを入れてください。
本体表示窓に0:00が点滅している	停電がありました。もう一度時刻合わせをしてください。(42ページ参照)
タイマー録画が始まるまでの間、テープを見たい	タイマーボタンを押して表示を消してから操作します。 操作終了後は、タイマーボタンを押して表示を点灯させます。
タイマー録画中に停止するには	タイマーボタンを押して表示を消してから停止ボタンを押します。
リモコン予約で、深夜0時をまたぐタイマー録画では (例)月曜日、午後11時から翌日(火曜日)午前1時まで予約する場合	開始時刻の曜日(月曜日)にします。
タイマー予約設定中に予約表示が消えた	予約設定中に約1分間放置すると表示内容は消えます。もう一度やり直してください。
タイマー録画中にカセットが出て、と表示が点滅している	テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 タイマーボタンを押すと、と表示は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。
電話予約を取消すには	①タイマーボタンを押して表示を消す。 ②予約確認ボタンを押して、本体表示窓に電話予約を表示する。 ③予約取消しボタンを押す。 ④リモコンのカウンターボタンを押して、通常の表示に戻す。
予約が重なったら	・録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 20:00 21:00 22:00 予約1 ➡ ドラマ 予約2 ➡ 録画されない ニュース番組 録画されるのは ➡ ドラマ ニュース番組 ・電話予約した録画を終了するまで、ほかのタイマー録画は行いません。 20:00 21:00 22:00 予約1 ➡ アニメ 録画されない 予約2(電話予約) ➡ 映　画 録画されるのは ➡ 映　画

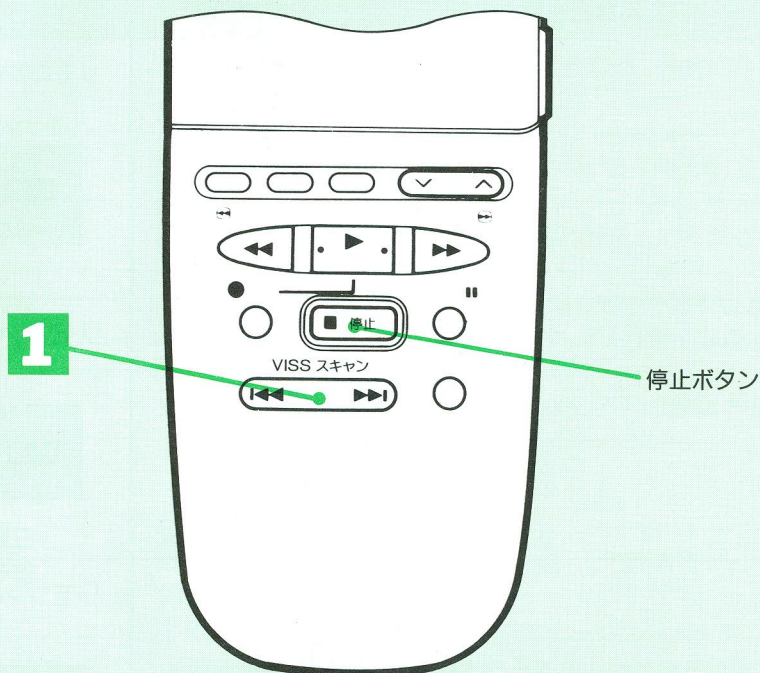
タイマー予約(18ページ参照)の曜日設定で、リモコンの曜日ボタンを押すごとに、毎日、毎週予約などの設定ができます。

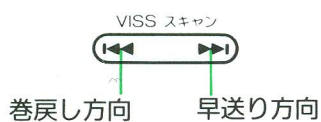
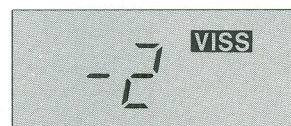
・毎日予約をするときは、曜日(－)ボタンを押し続けると早く呼び出せます。

こんなときは		こうしてください
月～木曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 リモコン表示窓 毎週 月火水木
月～金曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 毎週 月火水木金
月～土曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 毎週 月火水木金土
毎日予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 毎週 日月火水木金土
毎週予約 ・毎週金曜日の番組を録画したい	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 毎週 金
2週目予約 ・来週の水曜日の番組を録画したい	今日 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 — 1週目 7 8 9 10 11 12 13 — 2週目 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します。 水 2週

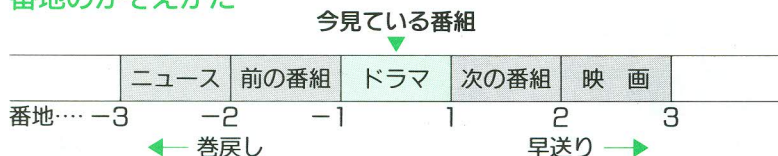
番組の頭出し

番組の頭出しをして再生する　VISSスキャン

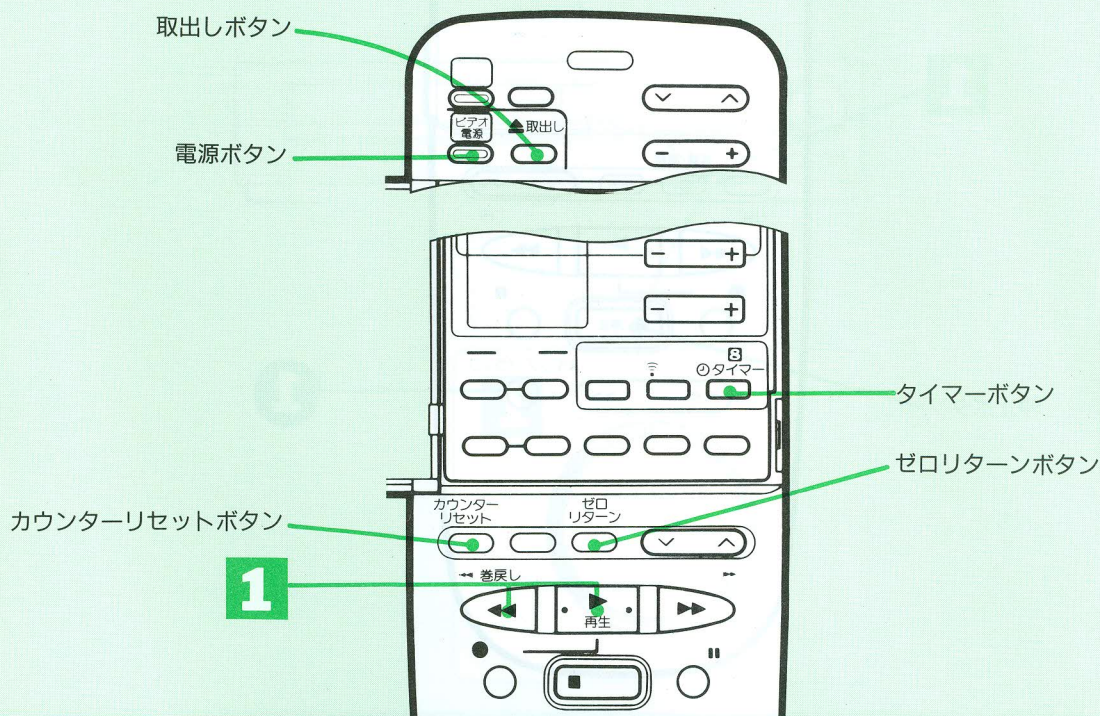
VISS(VHS Index Search System)は、録画やタイマー録画の開始点に自動的にマークをつけ、それを目印に番組を探すシステムです。

本体表示窓

1 停止または再生中にVISSスキャンボタンで番地を選ぶ

・2つ前の番地を選ぶ

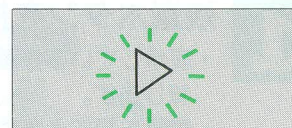
・VISSスキャンボタンを押すと、希望の番地をさがし自動的に再生します。
・押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと、数字が減ります。
・最高9番地まで指定できます。

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

〔例〕・前の番組の頭出しをする場合
VISSスキャン ⏮ ボタンを2回押します。
・次の番組の頭出しをする場合
VISSスキャン ⏭ ボタンを1回押します。

テープの始めから自動的に再生する　ネクストファンクションメモリー

タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときなどに便利です。

本体表示窓

1 巻戻しボタンを押したあとすぐに、再生ボタンを押す

・テープの始めから自動的に再生します。

テープの始めで自動的にカセットを出すには

巻戻しボタンを押したあとに取出しボタンを押します。

テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには

巻戻しボタンを押したあとにタイマーボタンを押します。

テープの始めで自動的に電源を切るには

巻戻しボタンを押したあとに電源ボタンを押します。

・カウンター0.00.00の位置を呼び出すときは、停止または再生中にゼロリターンボタンを押します。
・カウンターを0.00.00にするときはカウンターリセットボタンを押します。
・カウンター0.00.00の位置で上の動作をさせたいときは、巻戻しボタンのかわりにゼロリターンボタンを押します。

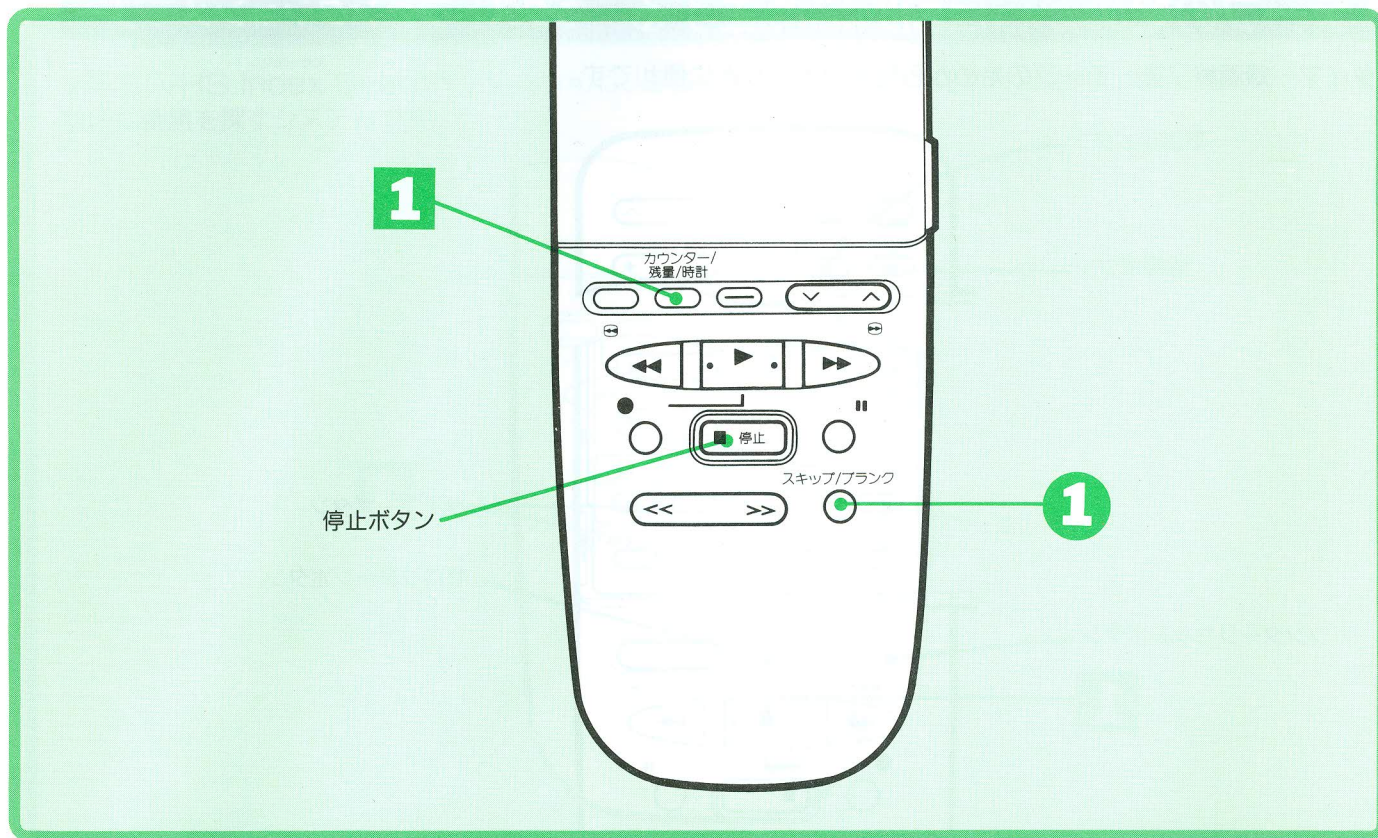
テープ残量の確認

カウンター/残量/時計

停止

スキップ/ブランク

停止ボタン

1

テープの残り時間を知らべる　テープ残量

残量ボタンを押す

- 表示している録画スピード（標準/3倍）で、計算します。
- 表示を戻すときは、残量ボタンを押します。

本体表示窓

テープ残量

1:35

- 録画や再生をした直後は、残量計算に多少時間がかかります。
  計算中は下のような表示になります。また、残量表示が点滅する場合もあります。

録画していない部分をさがす　ブランクサーチ

停止状態でブランクボタンを押す

- 未録画部分をさがし、停止します。
- テープ残量を表示します。
- 表示を戻すときは、残量ボタンを押します。

本体表示窓

テープ残量

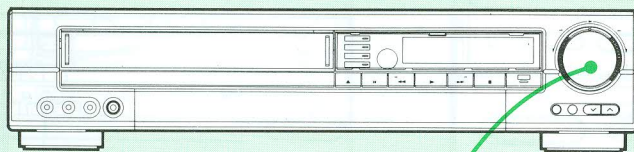
1:35

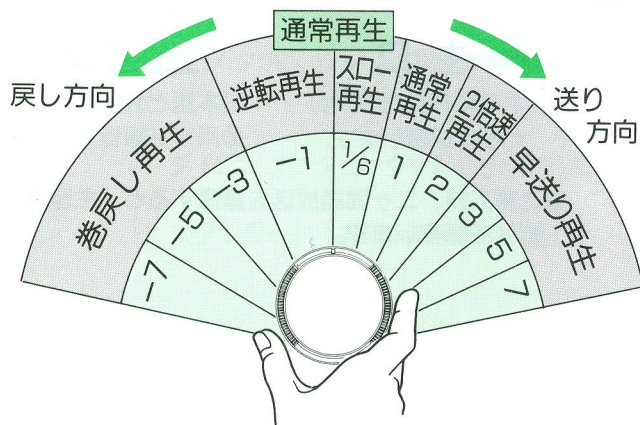
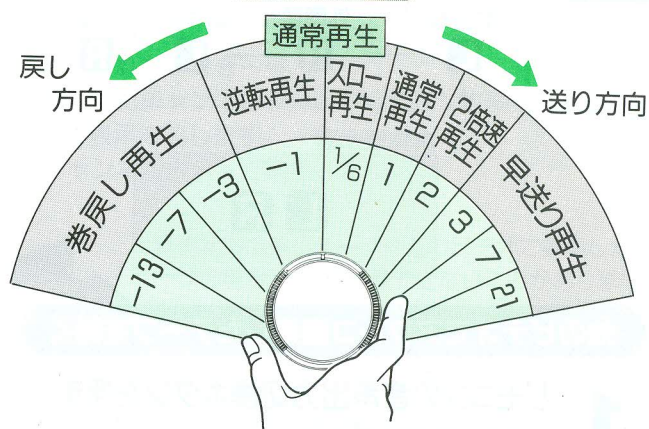
■途中でやめるには、停止ボタンを押します。

- 残量時間は目安です。
- 使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。

- ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

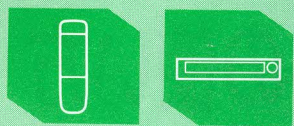
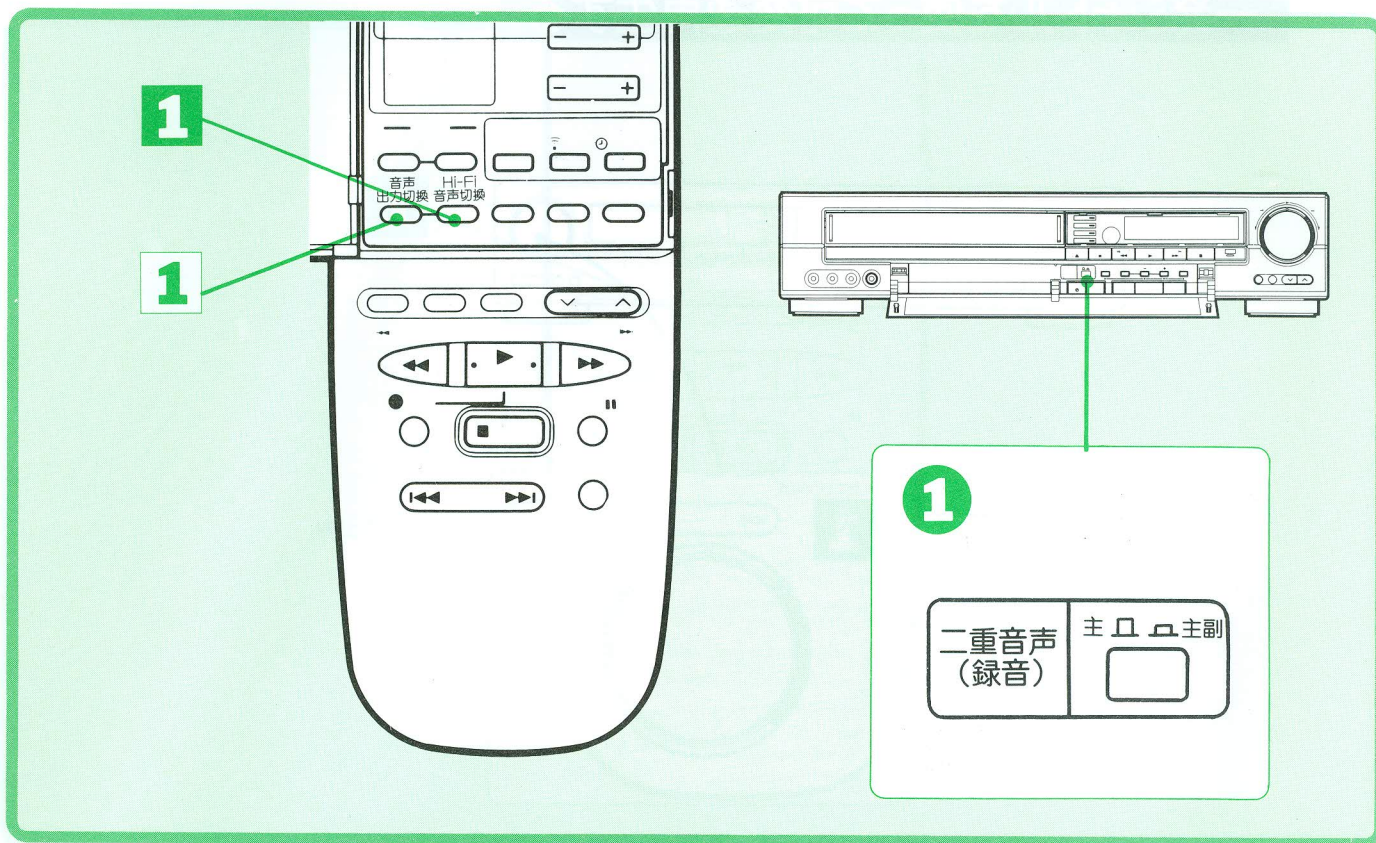
一発シャトル(シャトルダイヤル)の使い方

一発シャトルを使って可変速再生する

1 再生または静止画再生中に、一発シャトルを回して可変速再生する

・一発シャトルから手を離すと通常再生になります。

・可変速再生中は音声が出ません。
・スロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。

聞きたい音声を選ぶ

1 音声出力切換 1 Hi-Fi音声切換

1 二重音声（録音） 主 ⊓ ⊓主副

日本語と外国語が同時に聞こえたら

1 リモコンのHi-Fi音声切換ボタンを押す

・ボタンを押すごとに

日本語など　外国語　日本語＋外国語

本体表示窓

L R

他のビデオでアフレコ編集したテープを聞く

1 リモコンの音声出力切換ボタンを押す

・ボタンを押すごとに

編集前の音声　新しく入れた音声　混じった音声

L R → ノーマル → ノーマル L R

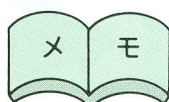
本体表示窓

ノーマル L R

二ヶ国語放送（日本語と外国語）を録音する

1 本体の二重音声（録音）ボタンを押し主副にする

主 ⊓	⊓ 主副
主音声（日本語など）だけを録音します	日本語と外国語の両方を録音します

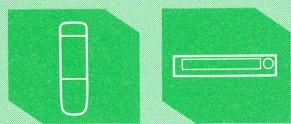
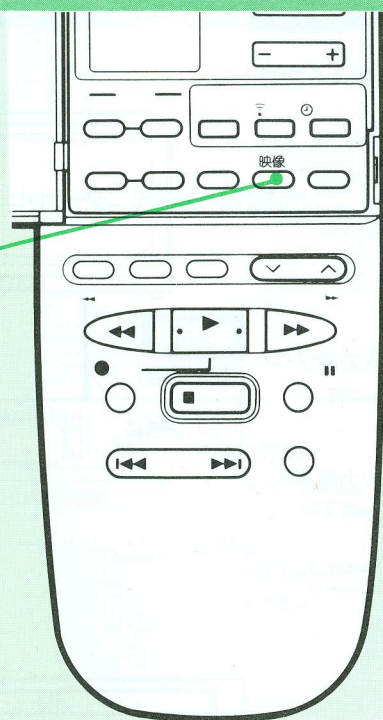
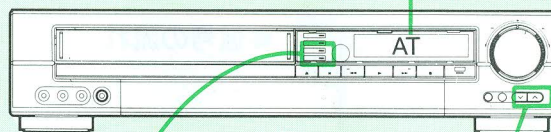
■ご購入時、二ヶ国語放送を録音すると、主音声だけを録音します。

・Hi-Fi録音されていないテープは、ノーマル音声を再生します。

・二重音声（録音）ボタンを主 副にして二ヶ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには主音声が録音されます。

再生画面の調節

1 映像

オートトラッキング(AT)表示

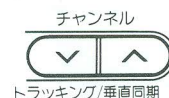
AT

映像ポジション
の表示ランプ

レンタル（緑色）

ダビング（赤色）

チャンネルボタン

チャンネル

トラッキング/垂直同期

テープに合わせた画質調節　映像ポジション

1 リモコンの映像ボタンで画質を選ぶ

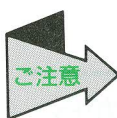
・ボタンを押すごとに、本体の表示ランプが点灯します。

→レンタル：レンタルビデオ再生時（緑ランプ点灯）
↓
ダビング：ダビングするとき（赤ランプ点灯）
↓
スタンダード：標準（表示ランプ消灯）

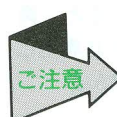
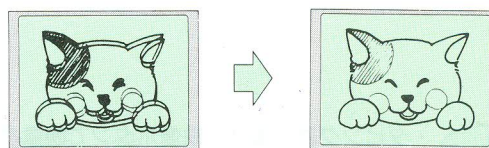
ノイズで見づらいとき　トラッキング調節

本機は、オートトラッキング機能付きです。
他のビデオで録画したテープを再生すると出るノイズを、自動的に消します。

・調節中は、AT表示が点滅します。
・調節されないとき……

1 再生中にチャンネル(∧)と(∨)ボタンを同時に押し、AT表示を消します。
2 チャンネルボタンで調節します。

・録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調整できないことがあります。

動きをとめると、上下にゆれるとき　垂直同期調節

チャンネルボタンで、ゆれを止めます。

・テレビの種類によっては、ゆれを止めることができない場合があります。

テープのコピー（ダビング）

他のビデオで再生、本機で録画する場合

ビデオムービーからダビングするときは、前面入力端子をお使いください。

信号の流れ

再生側

映像出力端子へ

映像入力端子へ

ビデオケーブル（付属）

音声出力端子へ

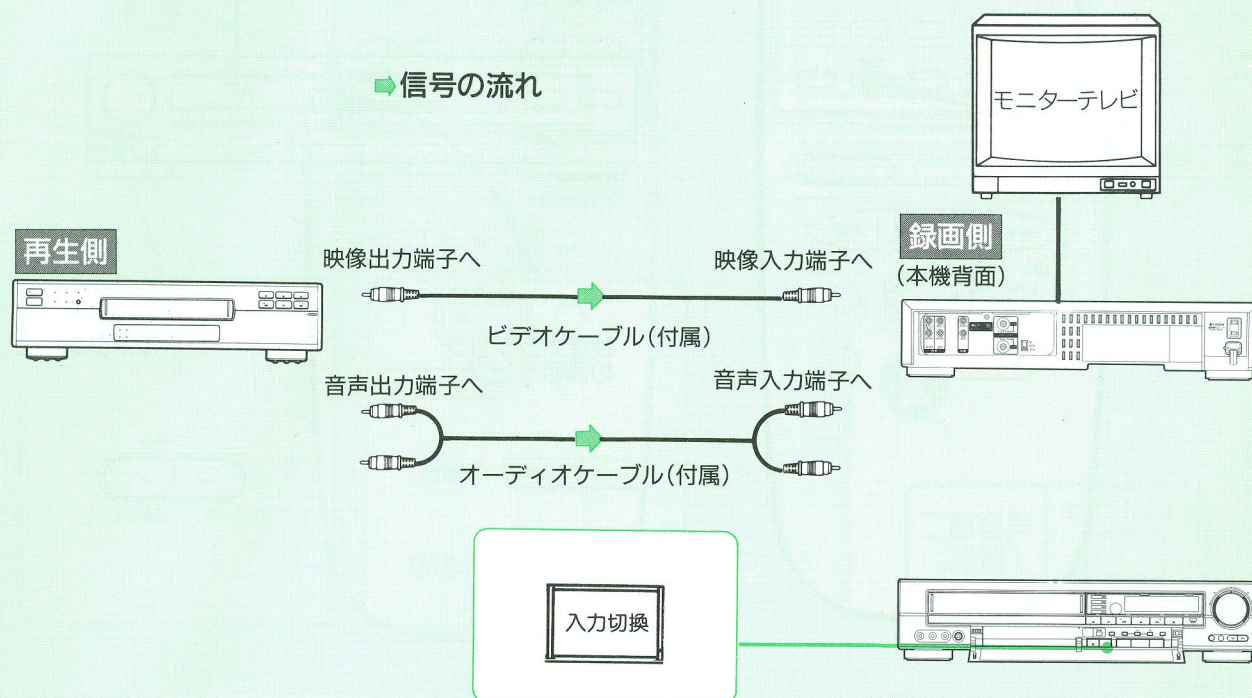
音声入力端子へ

オーディオケーブル（付属）

モニターテレビ

録画側
（本機背面）

入力切換

本機

1 リモコンの**映像ボタン**で
ダビングポジションにする
（29ページ参照）

2 **入力切換ボタン**でチャンネルを
L1（外部入力）にする

3 **一時停止ボタン**を押しながら
録画ボタンを押し、録画一時
停止にする

再生側

4 ダビングしたい部分の少し前
から再生する

本機

5 ダビングしたい場面で
再生ボタンを押す
・録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、**一時停止ボタン**を押します。

■終了するときは**停止ボタン**を押します。
・本機→再生側の順に停止します。

■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、
チャンネルボタンを押します。

・ダビング終了後は、映像ボタンで映像ポジションの表示ランプを消してください。
・本機にBSチャンネルを記憶していると、背面の入力端子はAVコンピュリンクII専用となり、L1チャンネルは表示しません。

・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で再生、他のビデオで録画する場合

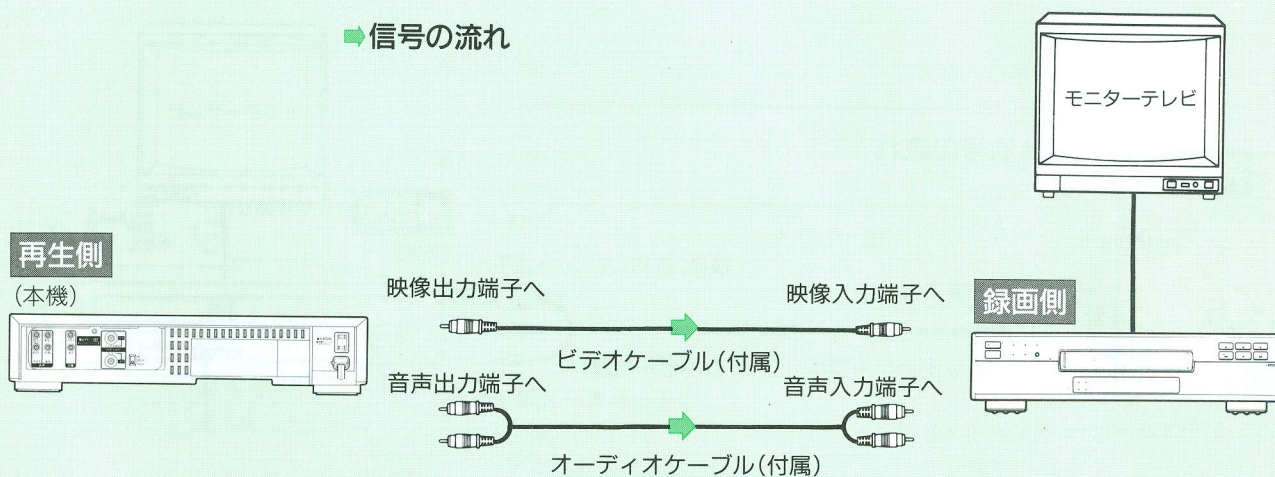
➡信号の流れ

モニターテレビ

再生側
（本機）

映像出力端子へ
映像入力端子へ
ビデオケーブル（付属）
音声出力端子へ
音声入力端子へ
オーディオケーブル（付属）

録画側

本機

1 リモコンの映像ボタンでダビングポジションにする

（29ページ参照）

録画側

4 ダビングしたい場面で録画する

録画側

2 ❶外部入力にする ❷録画一時停止にする

本機

3 ダビングしたい部分の少し前から再生する

■**終了するときは、停止ボタンを押します。**

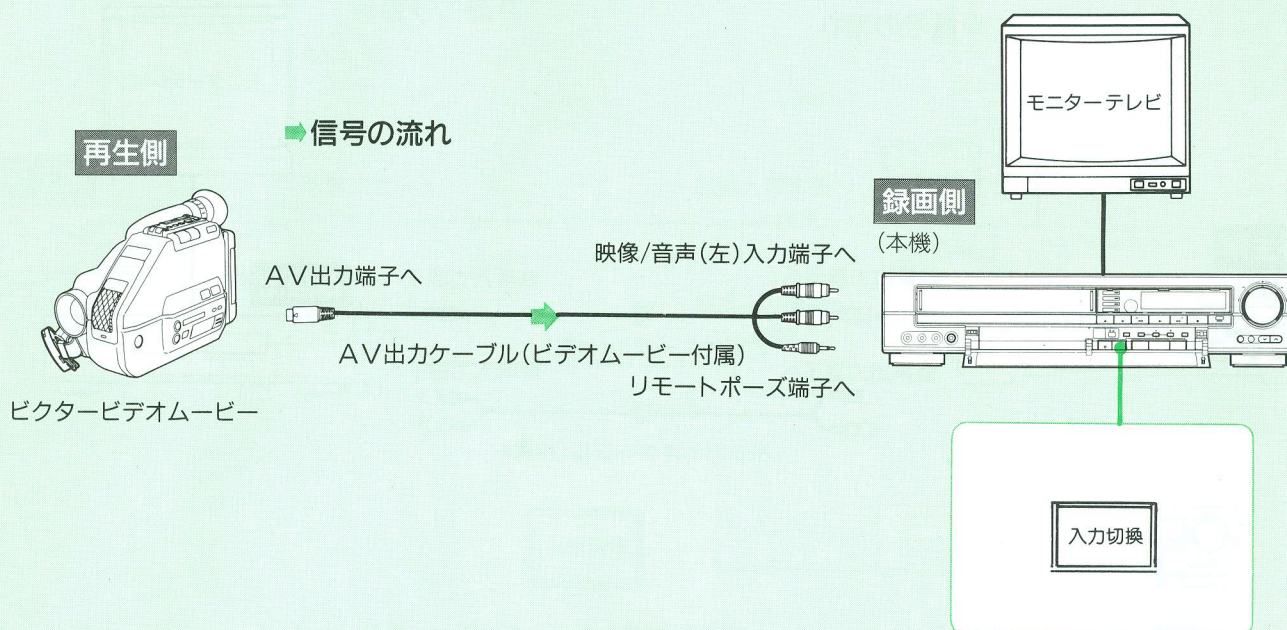
・録画側→本機の順に停止します。

・ダビング終了後は、映像ボタンで映像ポジションの表示ランプを消してください。

編集

テープのコピー〔ダビング〕(つづき)

・マスターエディットコントロール機能とは
ダビング時、本機の録画スタート/ストップをビデオムービー側で操作することです。
・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。

本機

1 リモコンの**映像ボタン**で
ダビングポジションにする
(29 ページ参照)

2 **入力切換ボタン**でチャンネル
をL2(外部入力)にする

3 **一時停止ボタン**を押しながら
録画ボタンを押し、録画一時
停止にする

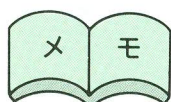
再生側

4 ダビングしたい場面で静止画
再生にする

5 **エディットボタン**を押す
・自動的に録画を始めます。

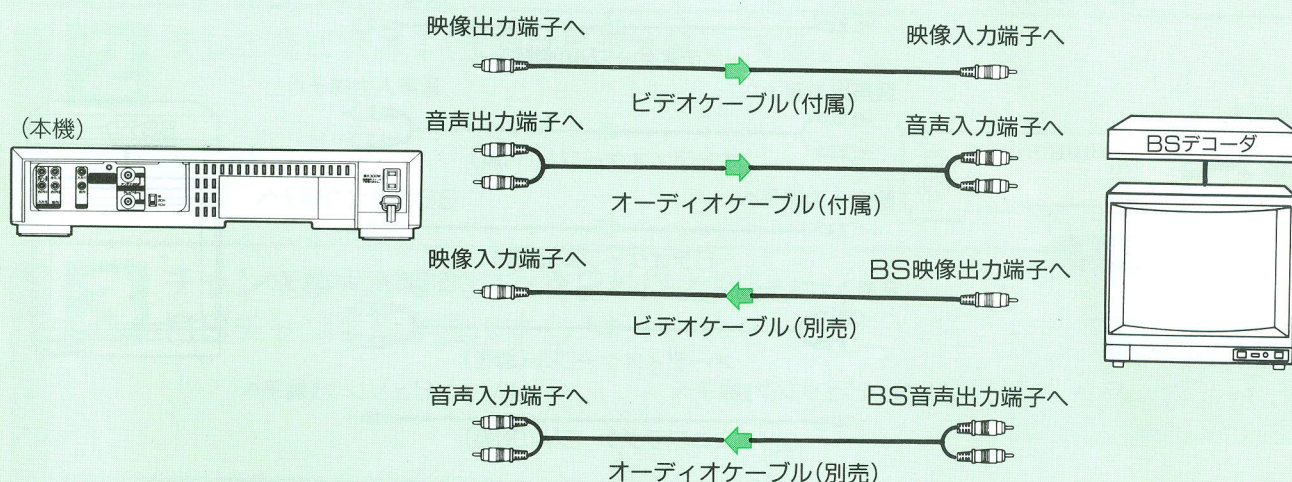
**■録画を一時的に止めるには、ビデオムービー
の一時停止ボタンを押します。**
・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

**■終了するときは、ビデオムービーの
停止ボタンを押します。**
・本機は録画一時停止になります。

**■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、
チャンネルボタンを押します。**

・ダビング終了後は、映像ボタンで映像ポジションの表示ランプを消してください。

・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

BS番組の録画

BSテレビと接続してBS番組を録画する

テレビ

1 テレビで録画したいチャンネルを選ぶ

本機

2 入力切換ボタンでビデオのチャンネルをL１(外部入力)にする

本体表示窓

L1

3 録画またはタイマー録画する

・タイマー録画の場合、チャンネルはリモコンの入力切換ボタンでL(外部入力)を表示して予約します。

・テレビの取扱説明書もお読みください。

編集

AVコンピュリンクⅡ

BSテレビと接続してBS番組を録画する　AVコンピュリンクⅡ

AVコンピュリンクⅡは、ビクターのAVコンピュリンクⅡ対応テレビと接続して、BS番組の録画やタイマー録画が簡単にできます。
BS番組を録画するために、本機にBSチャンネルを登録します。

➡信号の流れ

本機背面

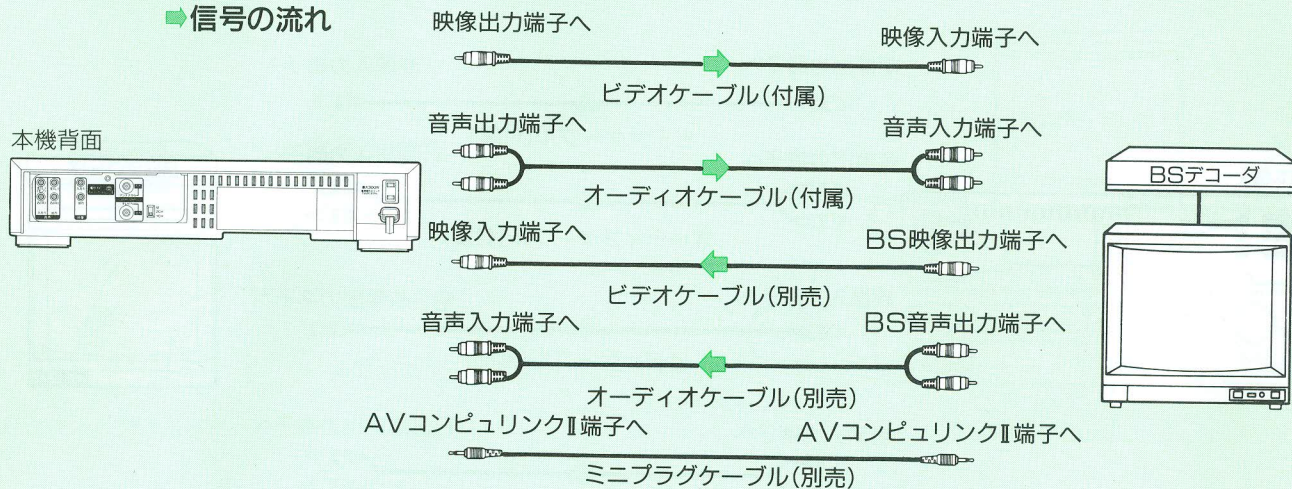
映像出力端子へ　→　ビデオケーブル(付属)　→　映像入力端子へ

音声出力端子へ　→　オーディオケーブル(付属)　→　音声入力端子へ

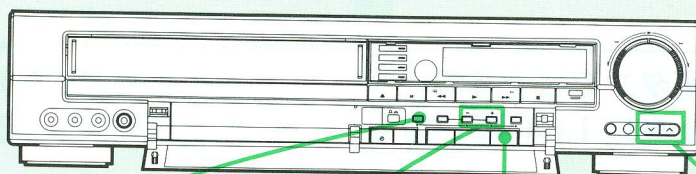
映像入力端子へ　←　ビデオケーブル(別売)　←　BS映像出力端子へ

音声入力端子へ　←　オーディオケーブル(別売)　←　BS音声出力端子へ

AVコンピュリンクⅡ端子へ　―　ミニプラグケーブル(別売)　―　AVコンピュリンクⅡ端子へ

BSデコーダ

下記の当社製品をご使用ください
・CN-120A(1.5m)
・CN-125A(3.0m)

3 **6**
チャンネル合わせ

4
－ 合わせ ＋

5
チャンネル 記 憶

7
チャンネル
トラッキング/垂直同期

1 本機とテレビを接続する

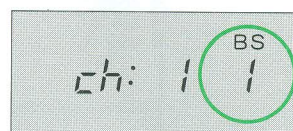
・リモコンでビデオ操作するときに
　Aコードで使用している場合➜テレビのビデオ１入力端子
　Bコードで使用している場合➜テレビのビデオ2入力端子と接続する

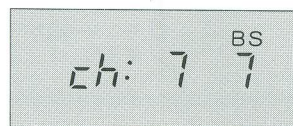
テレビ

2 テレビをビデオ１（またはビデオ2）にする

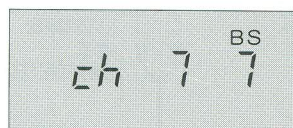
本機

3 チャンネル合わせボタンを2秒以上押し、BSチャンネルを表示する

本体表示窓

4 合わせボタンで登録するBSチャンネルを選ぶ

BS
ch: 7 7

5 チャンネル記憶ボタンを押す

・：表示が消えます。
・ほかにも記憶したいBSチャンネルがあるときは、4～5をくり返します。

BS
ch 7 7

6 チャンネル合わせボタンで表示を戻す

・設定完了です。

7 チャンネルボタンでBS番組が映ることを確認する

■BS番組を録画する場合は16ページと同じ操作をします。
■BS番組をタイマー録画する場合は18ページと同じ操作をします。

・登録したBSチャンネルを消したい場合は47ページをご覧ください。

関連システムとの接続

テレビ・コンパクトコンポとの連携プレー　AVコンピュリンク

当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。
(例)ワンタッチ再生
　録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと
　コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
　テレビ　　　　　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

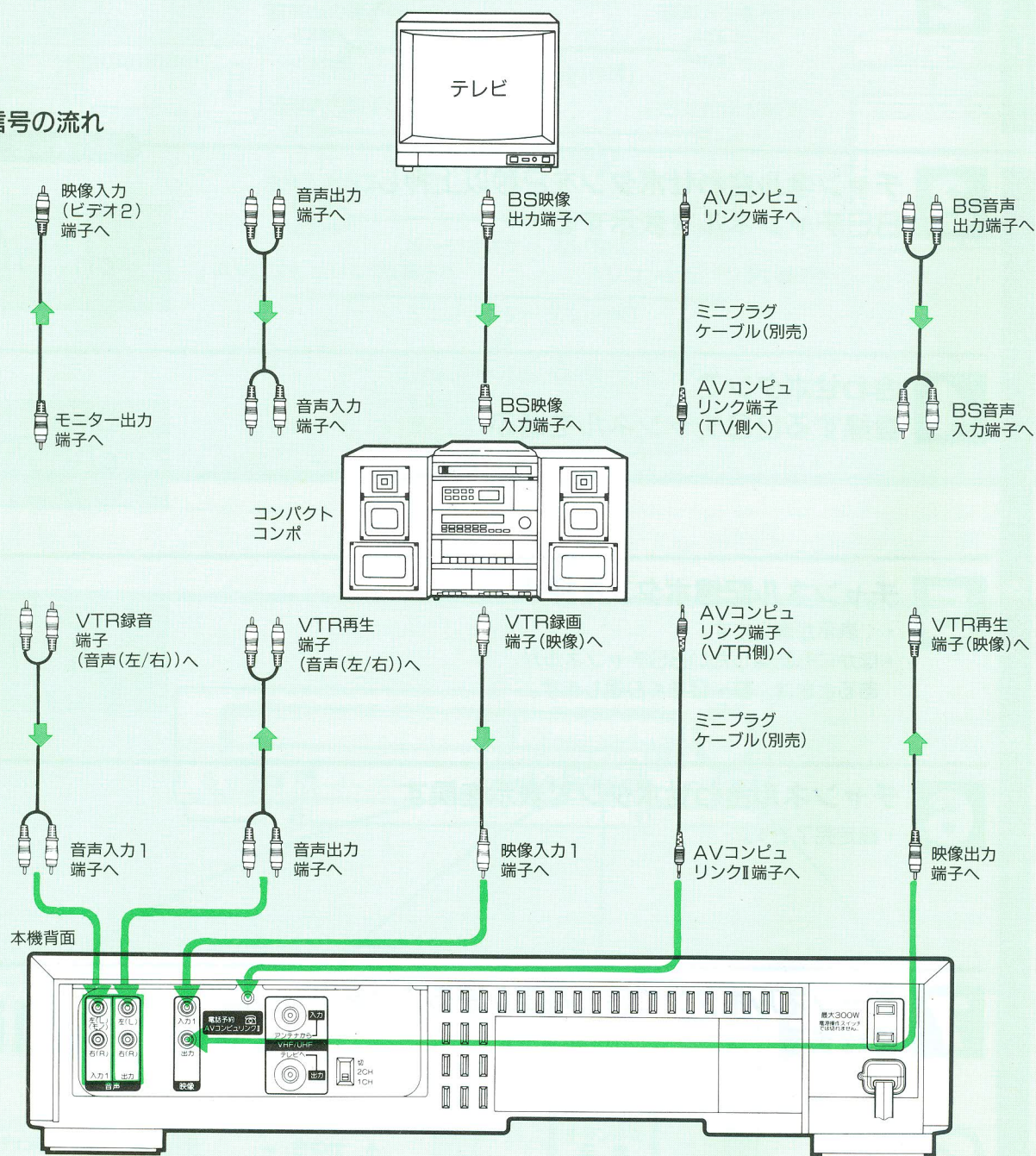
テレビ

➡信号の流れ

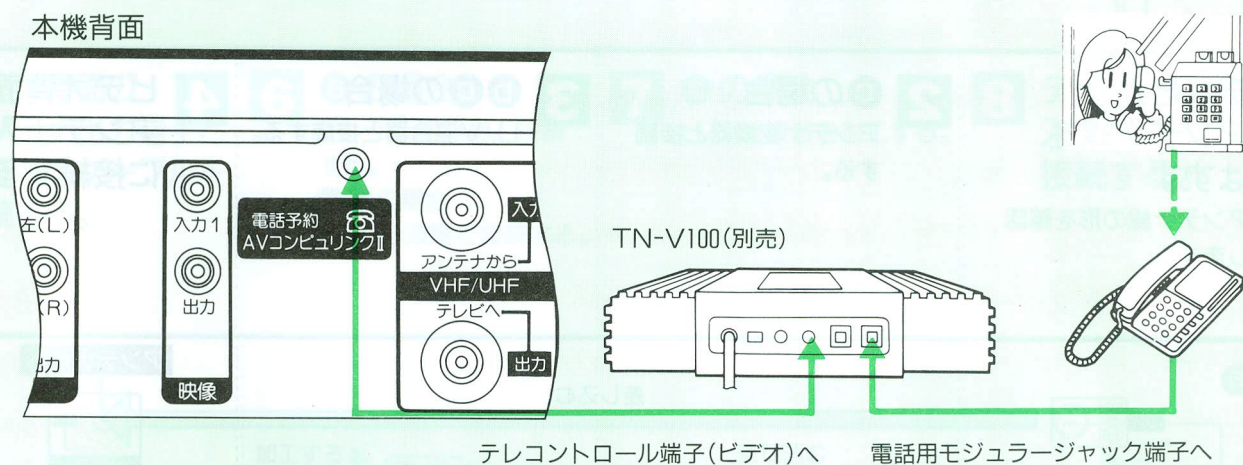
映像入力(ビデオ2)端子へ
モニター出力端子へ
音声出力端子へ
音声入力端子へ
BS映像出力端子へ
BS映像入力端子へ
AVコンピュリンク端子へ
ミニプラグケーブル(別売)
AVコンピュリンク端子(TV側へ)
BS音声出力端子へ
BS音声入力端子へ

コンパクトコンポ

VTR録音端子(音声(左/右))へ
音声入力1端子へ
VTR再生端子(音声(左/右))へ
音声出力端子へ
VTR録画端子(映像)へ
映像入力1端子へ
AVコンピュリンク端子(VTR側)へ
ミニプラグケーブル(別売)
AVコンピュリンクII端子へ
VTR再生端子(映像)へ
映像出力端子へ

本機背面

・ミニプラグケーブルは下記の当社製品をご使用ください。
　・CN-120A(1.5m)
　・CN-125A(3.0m)
・詳しくは、コンパクトコンポの取扱説明書をお読みください。

外出先から電話でタイマー予約

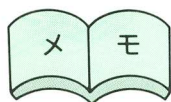
別売のAVテレホンコントローラーTN-V100と組み合わせて、電話で録画予約、録画スタート、予約取消し、テープの巻戻し、電源ON/OFF、停止、カセット有無の確認、在宅者コールが外出先からできます。

AVテレホンコントローラーを準備する

・TN-V100の「取扱説明書」をよく読んで初期設定を行ってください。

ビデオ(本機)を準備する

❶つめのついたカセットを入れます。
❷本体のリモコンコードをAコードにします。(11 ページ参照)
❸電源を切ります。

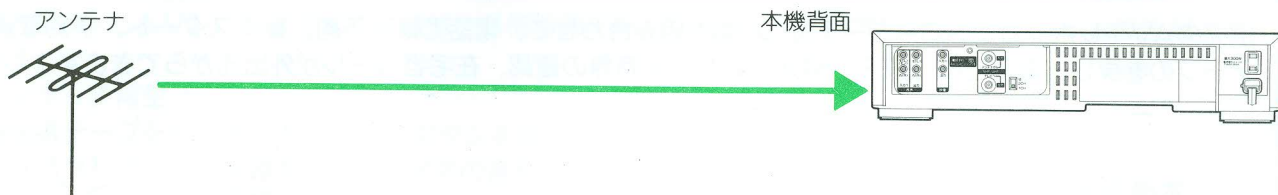
電話予約する

・TN-V100(別売)の「取扱説明書」をよくお読みください。
　また、同機はオーディオ機器の電話での操作もできます。

・詳しくは、AVテレホンコントローラーの取扱説明書をお読みください。
・BS番組の予約はできません。

編集

アンテナ、ビデオ、テレビの接続

アンテナ ←→ ビデオの接続

アンテナ　本機背面

1 テレビからアンテナ線をはずす
アンテナ線の形を確認します。

2 ⓒの場合
アンテナ変換器と接続する。

3 ⓑⓒの場合
U/V混合器と接続する。

4 ビデオ背面のアンテナ入力端子に接続する。

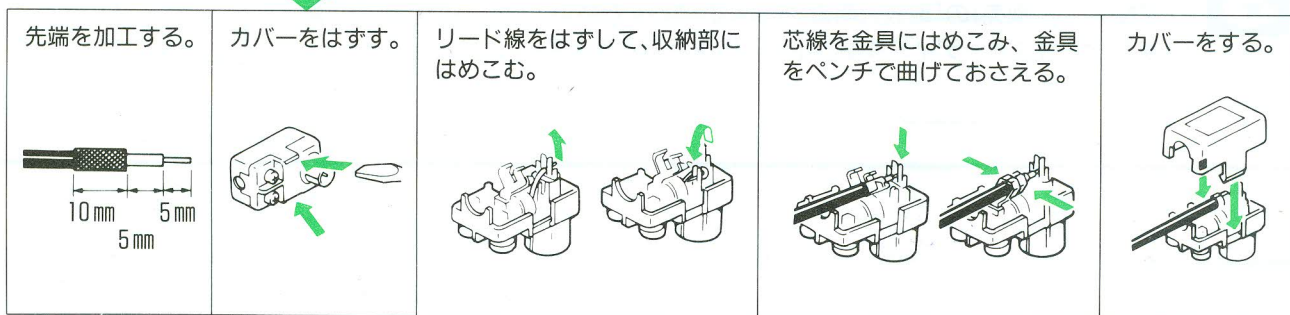
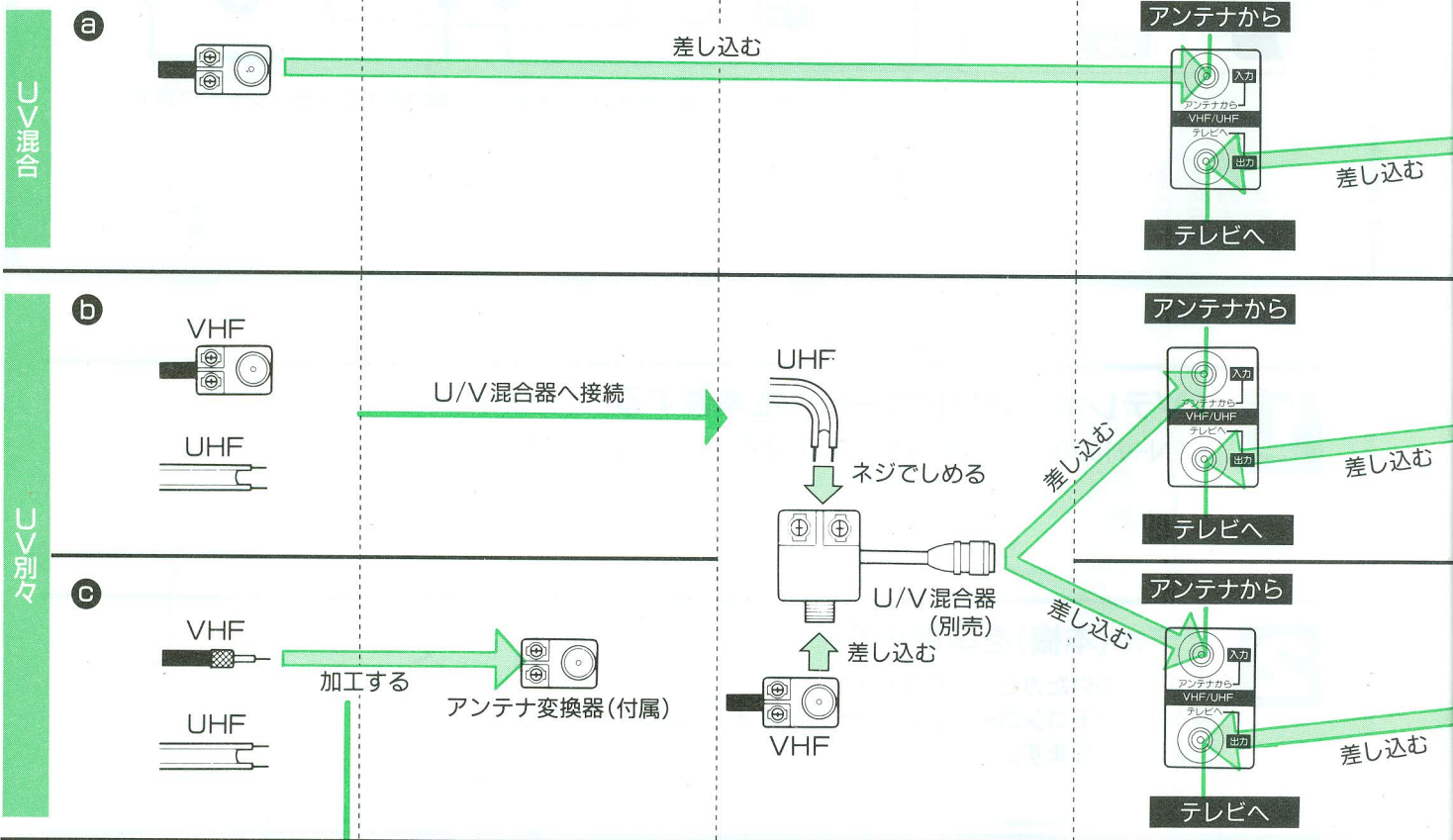
UV混合

ⓐ 差し込む　アンテナから　入力　アンテナから VHF/UHF　テレビへ　出力　差し込む　テレビへ

UV別々

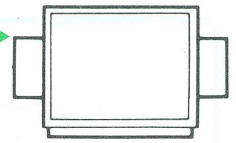
ⓑ VHF　UHF　U/V混合器へ接続　UHF　ネジでしめる　U/V混合器（別売）　差し込む　VHF　差し込む　差し込む　アンテナから　テレビへ　差し込む

ⓒ VHF　UHF　加工する　アンテナ変換器（付属）　アンテナから　テレビへ　差し込む

先端を加工する。	カバーをはずす。	リード線をはずして、収納部にはめこむ。	芯線を金具にはめこみ、金具をペンチで曲げておさえる。	カバーをする。
10㎜　5㎜　5㎜				

・アンテナがUV別々の場合は、別売のU/V混合器（VZ-84）が必要です。
くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

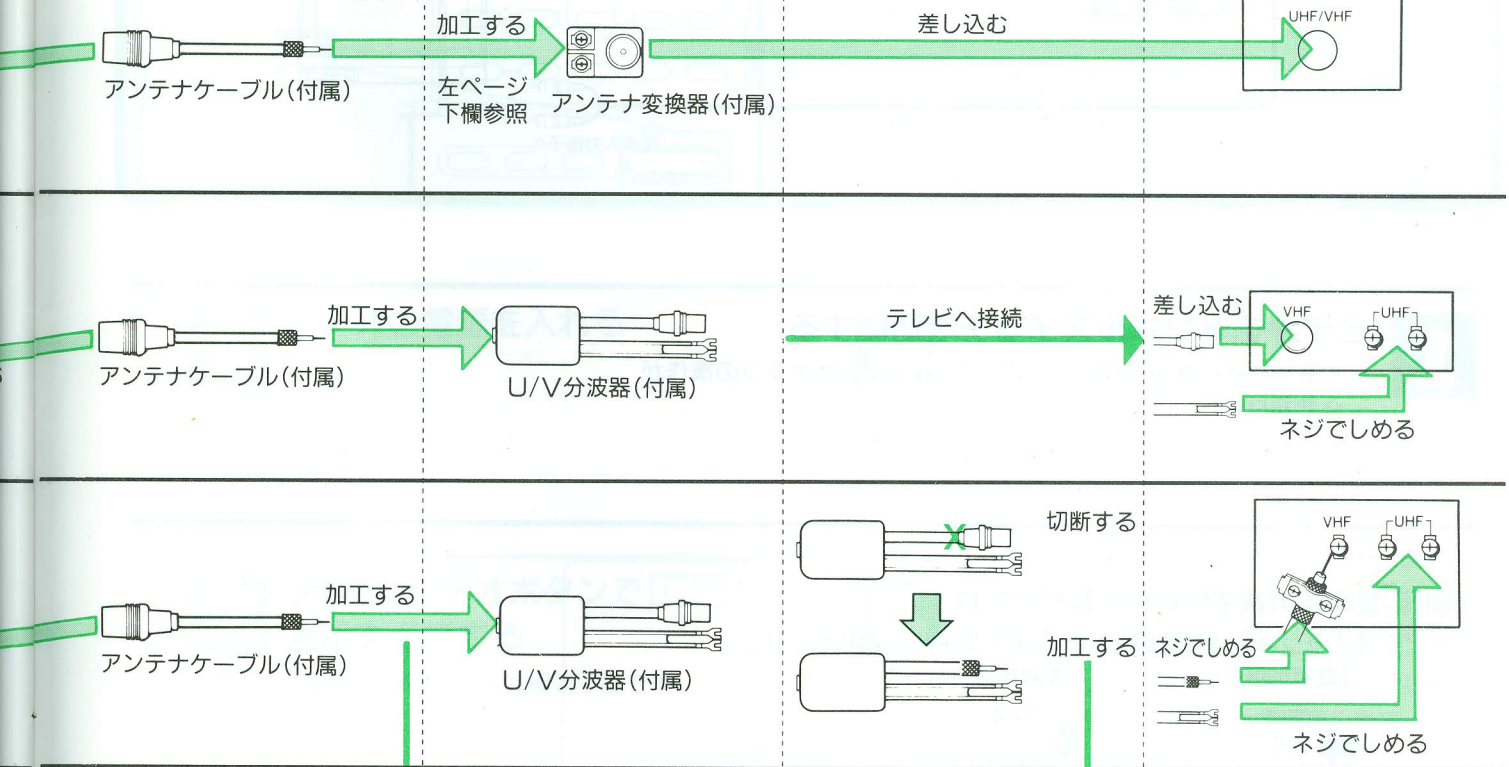
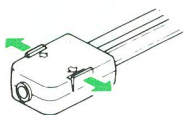
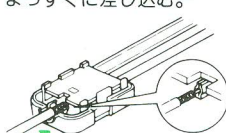
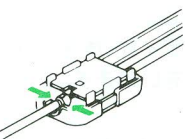
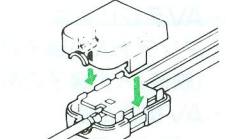
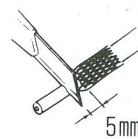
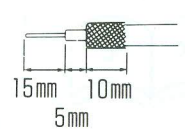
AVテレビをお持ちのかたへ

AV接続も合わせて行います。
次ページをご覧ください。

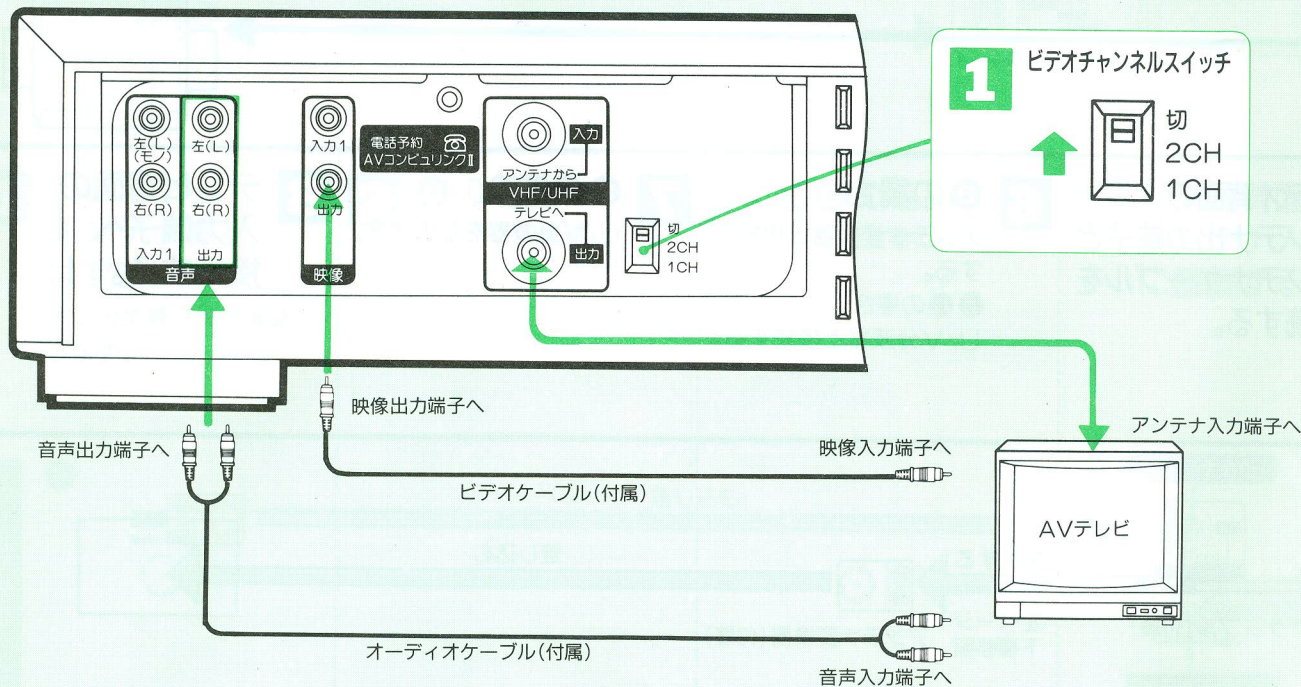
ビデオ←→テレビの接続

5 ビデオ背面のアンテナ出力端子とアンテナケーブルを接続する。

6 ⓐの場合
アンテナ変換器と接続する。
ⓑⓒの場合
U/V分波器と接続する。

7 ⓒの場合
U/V分波器を加工する。

8 テレビ背面の入力端子へ接続する。

AVテレビとの接続

AVテレビとの接続とビデオチャンネルの設定

AVテレビでないかたは接続不要です。ビデオチャンネルの設定だけ行ってください。

1 ビデオチャンネルスイッチを切にする

・録画中に別の番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンの操作が必要ありません。

映像/音声入力端子のないテレビの場合

・ビデオチャンネルは放送のない空きチャンネルに合わせます。

【東京地区】

【大阪地区】

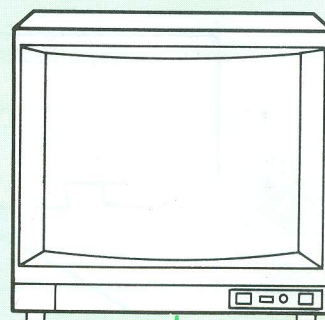
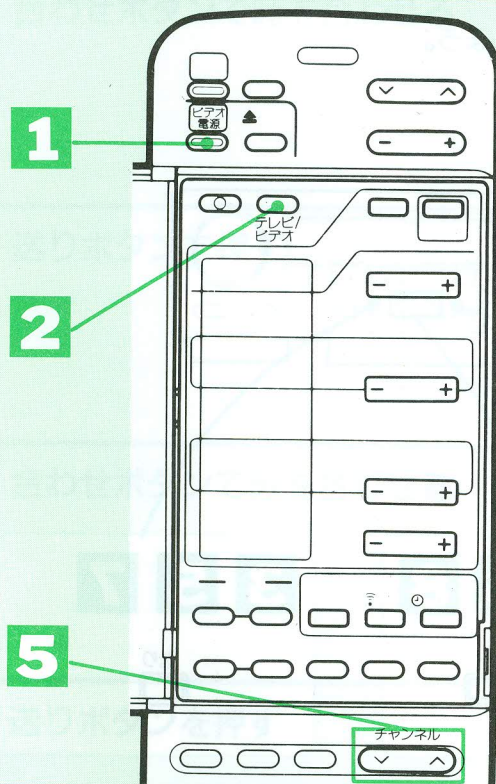
・ビデオチャンネルとは
ビデオから出力される信号(映像と音声)をテレビに映して見るとき、テレビのチャンネルを何も放送されていないチャンネルに合わせて見ます。AV接続の場合は、ビデオにします。AV接続でない場合は、1または2チャンネルにします。
(例)東京地区：2チャンネル　大阪地区：1チャンネル

・AVテレビとは
アンテナ入力端子の他にオーディオ(音声)、ビデオ(映像)入力端子のあるテレビをいいます。

・AV接続とは
付属のビデオ、オーディオケーブルを使って、テレビとビデオを接続する方法です。

ビデオチャンネルの確認

1 ビデオの電源を入れる

2 テレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を点灯する

・AVテレビの場合は操作不要です。

3 テレビの電源を入れる

4 テレビのチャンネルを1か2にする

・AVテレビの場合は、ビデオにします。

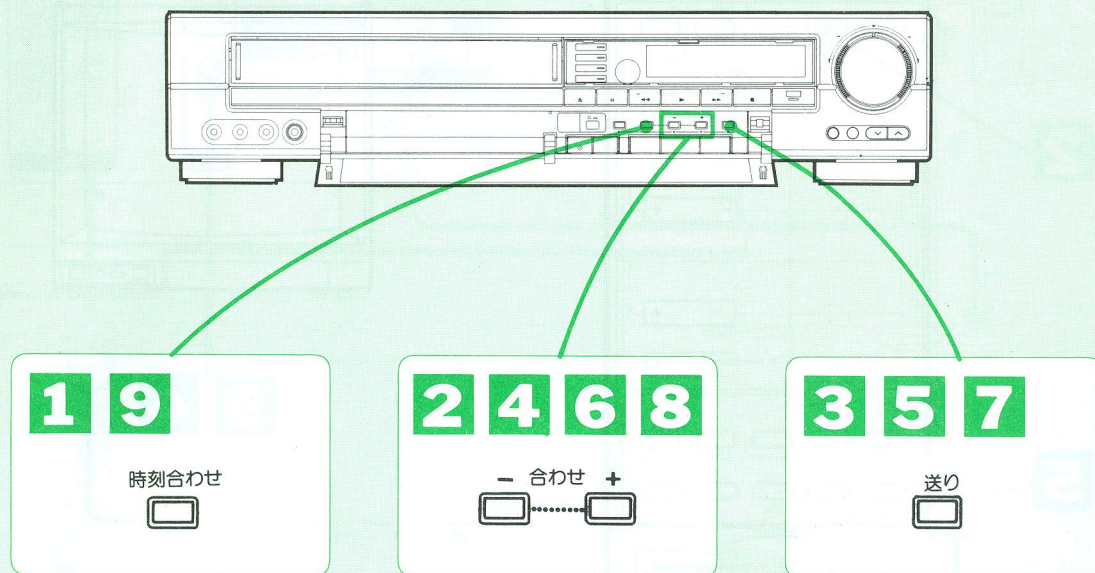
5 ビデオのチャンネルを変えて映ることを確認する

・ビデオソフトまたは録画済カセットがある場合は再生して映ることを確認します。

設置

時刻合わせ/ぴったりクロック

時刻合わせをする

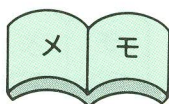
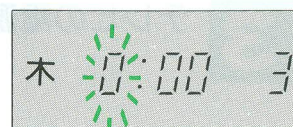
タイマー録画を正しく行うために、時刻を正確に合わせましょう。

(例)木曜日 午後3時35分(15:35)、ぴったりクロックのチャンネル12(関西地区)に合わせるとき

本体表示窓

1 時刻合わせボタンを押す

約10秒以内

2 合わせボタンで曜日を合わせる

3 送りボタンを押す

・ぴったりクロックとは
自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。
NHK教育テレビの時報で1日3回(7、12、19時)時計を修正します。ただし、ビデオ使用中は動作しません。
時報合わせ中は、本体表示窓にぴったりチャンネルを表示します。
※NHK教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認のうえチャンネルを設定してください。

合わせボタンで時を合わせる

木 15:00 3

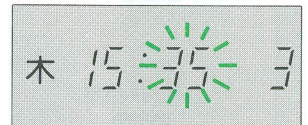
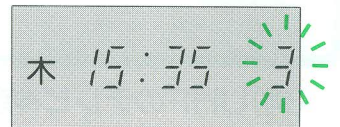
5 送りボタンを押す

木 15:00 3

6 合わせボタンで分を合わせる

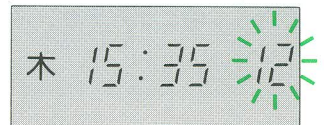
木 15:35 3

7 送りボタンを押す

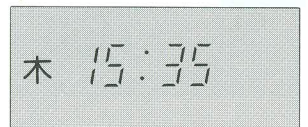
木 15:35 3

8 合わせボタンでぴったりクロックのチャンネルを設定する

・NHK教育テレビのチャンネルに合わせます。

NHK教育テレビが３チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

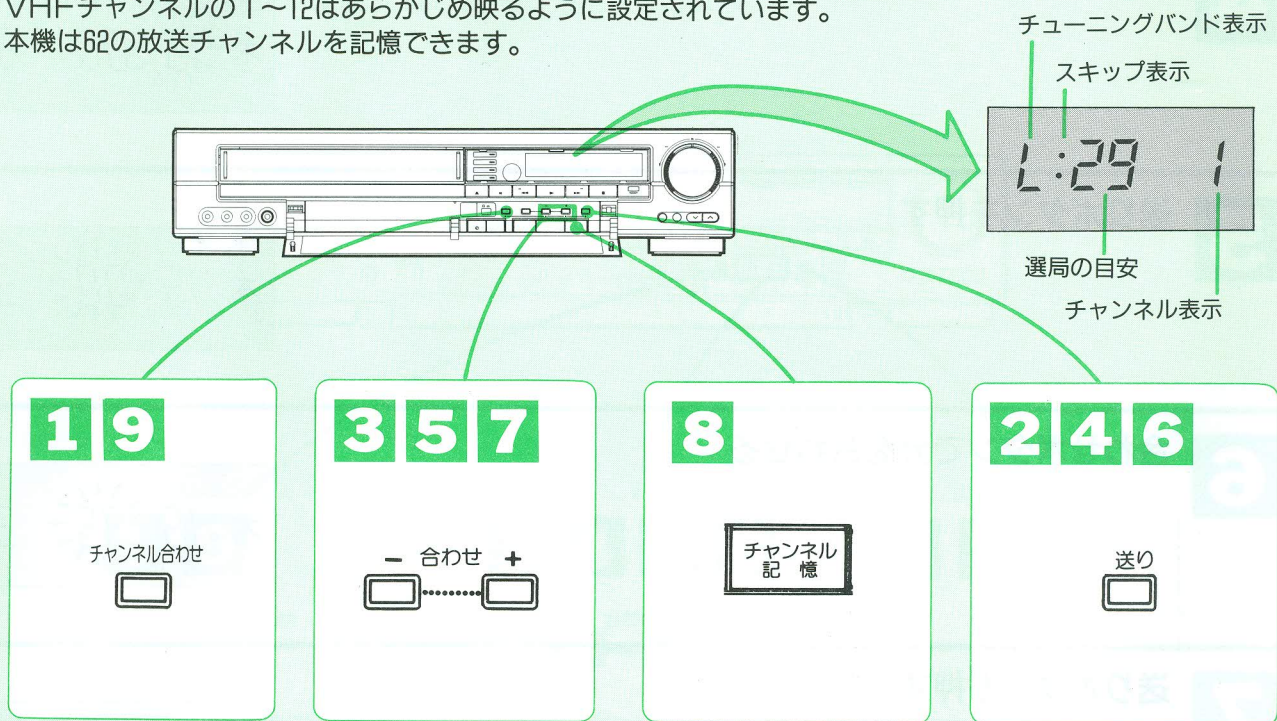
木 15:35 12

9 時刻合わせボタンを押す

・時計が動き始めます。
・正確に合わせたいときは、時報(☎117)に合わせて時刻合わせボタンを押してください。

木 15:35

・途中で修正するときは送りボタンで点滅部分を移動させ、合わせボタンで修正します。
・現在時刻とのずれが±３分以上あるときは、ぴったりクロックは働きません。
・音楽入りの時報では機能しないことがあります。
・10分以上の停電があると、本体表示窓が0:00で点滅します。
再度、時刻合わせをしてください。

受信チャンネル設定

UHF放送を受信する

VHFチャンネルの1～12はあらかじめ映るように設定されています。
本機は62の放送チャンネルを記憶できます。

(例)UHFのテレビ神奈川を受信し、チャンネル表示を42にする

テレビの準備

❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。(40 ページ参照)

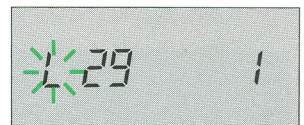
本体表示窓

1 チャンネル合わせボタンを押す

(表示例)

L 29 1

2 送りボタンを押す

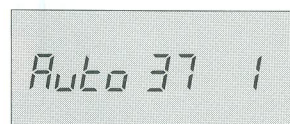
L 29 1

3 合わせボタンでUにする

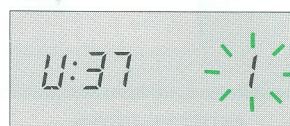
・1～3チャンネルを受信したいときはL、4～12はH、13～62はUを選んでください。
・ボタンを押すごとにL→H→Uと変わります。

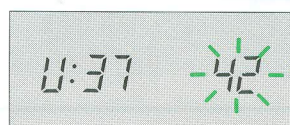
U:00 1

4 送りボタンを押す

5 Auto表示が出るまで、合わせ(＋)ボタンを押す

・Auto表示が出たら、ボタンから指を離してください。自動的に受信するチャンネルを探します。
・番組を受信したら、新聞などで希望の番組かどうか確認し、違うときはさらにAuto表示が出るまで合わせ(＋)ボタンを押します。
・(－)方向への自動選局はできません。
・希望の番組が通りすぎたときは、合わせ(－)ボタンを押し続けて呼び出します。

●受信したチャンネルの映りが悪いときは、合わせ(＋)または(－)ボタンをポンポンと押し、微調整します。

6 送りボタンを押す

7 合わせボタンで42にする

・チャンネル表示は、録画やタイマー録画に使用する数字です。

8 チャンネル記憶ボタンを押す

・：表示が消えます。
・さらにチャンネル設定をするときは5～8をくり返します。

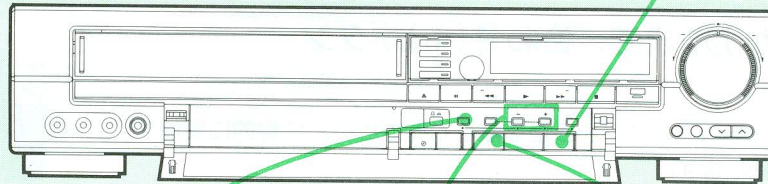
9 チャンネル合わせボタンで表示を戻す

・設定完了です。

設置

・放送のないチャンネルを飛ばしたいときは、次ページをご覧ください。

受信チャンネル設定(つづき)

放送のないチャンネルを飛ばす　チャンネルスキップ

本体表示窓
（表示例）

1 チャンネル合わせボタンを押す

L 29 1

2 合わせボタンで飛ばしたいチャンネルを選ぶ

L 38 2

3 スキップボタンを押す

・：表示が出ます。
・ほかにもスキップしたいチャンネルがあるときは、2〜3をくり返します。

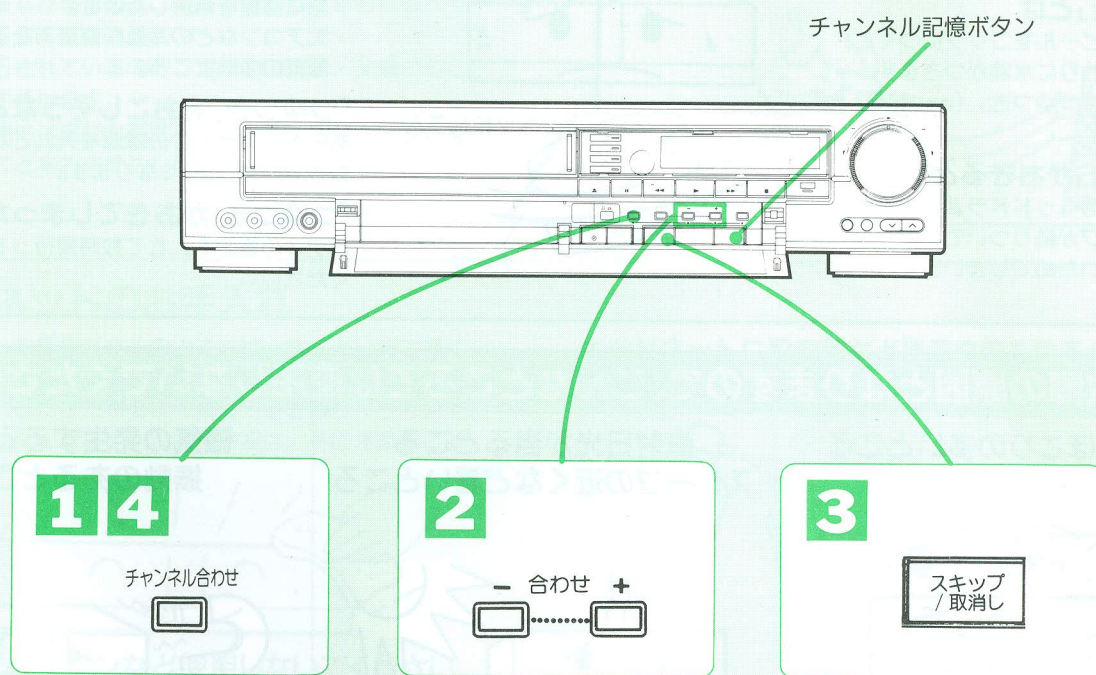
L:38 2

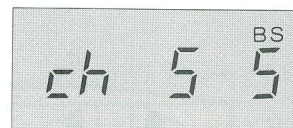
4 チャンネル合わせボタンで表示を戻す

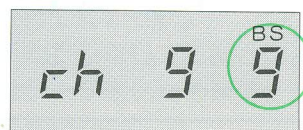
・設定完了です。

チャンネルを再び記憶するには2の操作で記憶したいチャンネルに合わせ、チャンネル記憶ボタンを押します。
・この操作で記憶できないときは、前ページの受信チャンネル設定の操作を行ってください。

AVコンピュリンクⅡ

放送のないBSチャンネルを飛ばす　BSチャンネルスキップ

本体表示窓

1 **チャンネル合わせボタン**を2秒以上押し、BSチャンネルを表示する

2 **合わせボタン**で飛ばしたいBSチャンネルを選ぶ

BS
ch 9 9

3 **スキップボタン**を押す

・：表示が出ます。
・ほかにもスキップしたいBSチャンネルがあるときは、2～3をくり返します。

4 **チャンネル合わせボタン**で表示を戻す

・設定完了です。

BSチャンネルを再び記憶するには2の操作で記憶したいBSチャンネルに合わせ、**チャンネル記憶ボタン**を押します。

設置

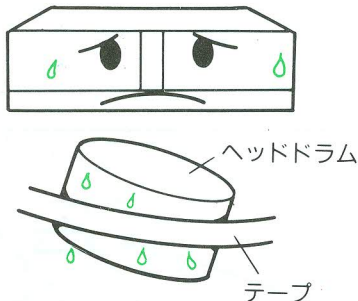
使用上のご注意

つゆつきにご注意

「つゆつき」とは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

「つゆつき」がおきると

ビデオ内部のヘッドドラムに水滴がつくとテープが貼りついて、テープやビデオをいためてしまいます。

こんなときは「つゆつき」にご注意

- 寒いところから暖かい部屋に移動したとき。
- 急に部屋を暖房したとき。
- エアコンなどの冷風が直接あたるところ。
- 湿気の多いところ。

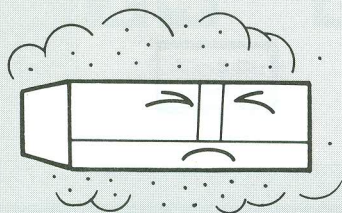
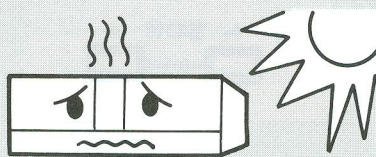
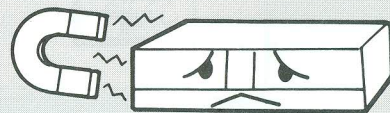
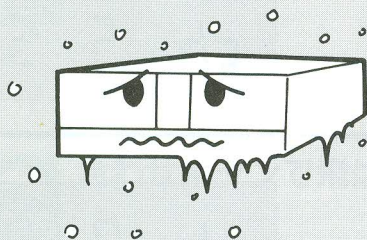
「つゆつき」をおこしそうなときは

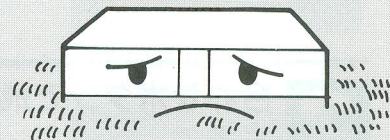
あらかじめビデオの電源を入れておくと、「つゆつき」がおきにくくなります。

「つゆつき」がおきてしまったら

ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

故障の原因となりますので、こんなところでは使用しないでください

湿気やほこりの多いところ

直射日光が当るところ
ストーブの近くなど暑いところ

磁気の発生するところ
振動のあるところ

極端に寒いところ

湯気や油煙の当るところ

じゅうたんなどのやわらかいところ
でこぼこしたところ

ビデオの上にものをのせない

ビデオの上にものをのせたり、近くに水の入った容器などを置かないでください。故障の原因となります。

雷にご注意

雷が近いときは早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対触れないようにしてください。感電の危険があります。

通風孔をふさがないで

ビデオにテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置かないでください。故障の原因となります。

キャビネットをあけないで

キャビネットは絶対にはずさないでください。
内部に手を触れると感電の危険があります。

ビデオに手やものをいれない

カセット挿入口や通風孔に手やものを入れないでください。
万一異物が入ったときは電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。けがをする場合があります。

長時間使用しないときは

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグは、停止状態にしてカセットを取り出してから抜いてください。

電源コードを大切に

電源プラグをコンセントから抜くとき、コードをひっぱらずにプラグを持って抜いてください。
電源コードの上に重いものなど乗せないでください。

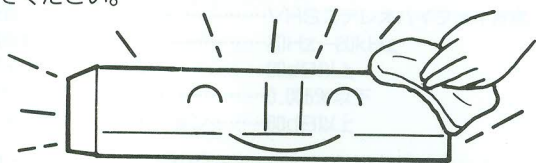
持ち運ぶときは

持ち運びや運送時に、衝撃を与えないでください。
カセットを取り出し、製品の入っていた段ボールで梱包してください。

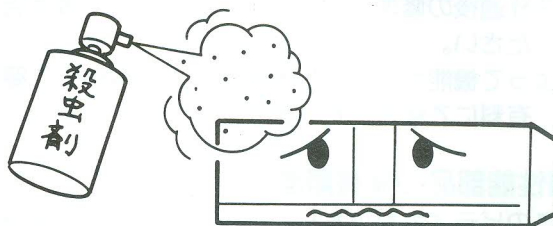
アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してたててください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検、交換することをおすすめします。
- アンテナ線には良好な画像を得るため、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは、柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げしてください。ご使用の際は、その注意書に従ってください。

シンナー、ベンジンなど使用しないでください。

キャビネットがいたんだり、塗料がはがれたりすることがあります。

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

ゴムやビニール製品などに長時間接触させないでください。

ビデオカセットについて

- ビデオカセットはS VHS、VHSタイプをお使いください。(ただし、S VHS録画はできません)
- 録画済テープに新しく録画するときは、前に録画されたものは自動的に消されます。
- カセットはうらがえしでは使えません。
- テープを走行させないで、カセットを何度も出し入れしないでください。
- テープ使用後は、始めまで巻戻しておいてください。

カセットの保管は

- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところはさけてください。
- 直射日光が当るところやストーブの近くはさけてください。
- 磁気の発生するところはさけてください。
- 落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。
- むらのある巻き取り状態はテープをいためます。きれいに巻きなおしてください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。

このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。

This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ビデオヘッドのクリーニング

テレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生するとザラザラした画面になることがあります。これは長い間ご使用しているうちに、ビデオヘッドが汚れて録画、再生能力が低下したためです。
別売のヘッドクリーニングテープTCL-2をご使用になり、ヘッドを清掃してください。

ヘッドクリーニングテープ

保証とアフターサービス

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い

この商品には保証書を別途添付しています。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービスについて

保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは

52～53ページをよくお読みの上、故障かどうかお調べください。

ビデオが異常なときは

ビデオから異常な音や煙が出るとき、また画像が映らなくなったときなどは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオテープレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめします。

仕様/付属品

仕　様

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 電源……………AC100V　50/60Hz
- 消費電力……………19W（電源切時 5W）
- 電源出力……………AC100V　50/60Hz　非連動
最大300W以下
- 外形寸法……………435×94×330mm（幅×高さ×奥行）
- 重量……………4.9kg
- 許容動作温度……………+5℃～+40℃
- 許容相対湿度……………35%～80%
- 許容保存温度……………−20℃～+60℃

ビデオ(映像)

- 録画・再生方式……………VHS方式（S-VHS簡易再生機能付き）
回転2ヘッドヘリカルスキャン
輝度信号　FM方式
色信号　低域変換直接記録方式
- 映像信号……………NTSC日米標準信号

オーディオ(音声)

- 録音方式……………VHSステレオハイファイ方式
- 周波数特性……………20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ……………90dB以上
- ワウ・フラッター……………0.005%以下
- チャンネルセパレーション……………60dB以上

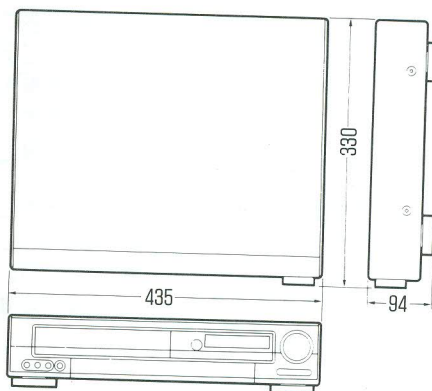
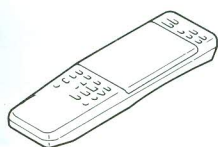
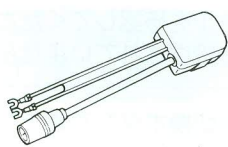
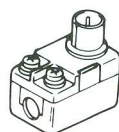
チューナー(テレビ受信)

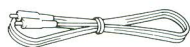
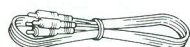
- 受信方式……………ボルテージシンセサイザー方式
- 音声多重受信方式……………インターキャリア方式
- 受信チャンネル……………VHF　1～12チャンネル
UHF　13～62チャンネル
- ビデオチャンネル……………1または2チャンネル（切モード付き）

タイマー(タイマー予約・時間)

- タイマー予約……………2週間8番組予約
- 時計……………24時間方式
- 停電補償時間……………約10分

接続端子

- アンテナ……………75Ω　F型コネクター
VHF/UHF一軸
- 映像……………入力　0.5-2.0Vp-p　75Ω(ピンジャック)
出力　1.0Vp-p　75Ω(ピンジャック)
- 音声……………入力　−8dBs　50kΩ(ピンジャック)
モノ(左)対応
出力　−8dBs　1kΩ(ピンジャック)
- リモートポーズ……………ビクター ビデオムービー・デッキとの編集用
- 電話予約……………3.5φ　AVコンピュリンクⅡ兼用

付属品

リモコン

U/V分波器

アンテナ変換器

アンテナケーブル
(1.5m)

ビデオケーブル
(1.5m)

オーディオケーブル
(1.5m)

単三乾電池
(×2)

故障かな?と思ったら

こんなときは/Q&A

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	・電源が入らない	・電源コードがコンセントからはずれていませんか? ・タイマー表示⊙が点灯していませんか?	—
	・引っ越し先でも使えるか	・日本国内は大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	・カセットが入らない	・正しい向きで入れてください。	—
	・カセットが出ない	・録画中またはタイマー表示⊙が点灯していませんか?	—
	・コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	・別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。	12
再生	・テレビに再生画がでない	・本体表示窓に[ビデオ]が表示されていますか? ・テレビはビデオチャンネルになっていますか? 映像/音声入力端子付テレビ(AVテレビ)と接続しているときは**ビデオ**にします。 アンテナ線だけの接続では **1** か **2** にします。	14
	・画面の一部にノイズが出る	・本体表示窓に**AT**(トラッキングの自動調節)が表示されていますか? ・AT表示中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行います。 ・長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚なくなることがあります。別売のクリーニングテープ**TCL-2**で掃除してください。	29 49
	・Hi-Fi音声が出ない	・本体表示窓に**LR**が表示されていますか? ・Hi-FiでないビデオやビデオムービーでHi-Fi録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。	28
	・日本語と外国語が同時に聞こえる	・リモコンのHi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。	28
	・シャトルサーチ、静止画にノイズが出る	・再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。故障ではありません。	—
	・カウンターが動かない	・テープの未録画部分では動きません。	—
録画	・録画できない	・カセットの**つめ**が付いていますか?	12
	・希望の番組が録画できない	・ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ・ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか?	46
	・録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	・リモコンのHi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。	28
	・日本語だけ録音したい	・本体の二重音声(録音)ボタンを**主**にします。	28
	・BSチャンネルは表示するが、BS番組が録画できない	・本機は、BSチューナー内蔵のビデオではありません。 BS番組を録画する場合は、BSテレビやBSチューナーなどと接続し、**L1**または**L2**(外部入力)チャンネルで録画します。 ただし、AVコンピュリンクⅡ対応のビクターテレビをお持ちのかたは、BSチャンネルを指定して録画できます。このときは、BSチャンネルの登録をします。	33 34

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
放送受信	・希望の番組が映らない	・映したいチャンネルを記憶してください。本体で操作します。 ❶チャンネル合わせボタンを押す。 ❷合わせボタンで、復帰したいチャンネルに合わせる。 ❸チャンネル記憶ボタンを押す。 ❹チャンネル合わせボタンで表示を戻す。 この操作で記憶できないときは、44ページの受信チャンネル設定の操作を行ってください。	46 44
タイマー録画	・タイマー録画ができない	・現在時刻は合っていますか? ・カセットの**つめ**が付いていますか? ・タイマー表示⏲は点灯していますか? ・予約内容を確認してください。 ・停電があったときは正しく動作しません。	18 ~ 22
リモコン	・リモコンが働かない	・リモコンのコード(A/B)が合っていますか? リモコンのA/Bコード切換ボタンで切り換えてください。 ・電池が消耗していませんか?	11
	・テレビが操作できない	・電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	10
	・本体への予約転送ができない	・本体に近づけて転送してください。	—
	・BSチャンネルは表示するが、BS番組のタイマー録画ができない	・本機は、BSチューナー内蔵のビデオではありません。 BS番組をタイマー録画する場合は、BSテレビやBSチューナーなどと接続し、**L**(外部入力)チャンネルで予約します。 ただし、AVコンピュリンクⅡ対応のビクターテレビをお持ちのかたは、BSチャンネルを指定して予約できます。このときは、BSチャンネルの登録をします。	33 34
編集	・ダビングできない	・前面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルを**L2**にします。 ・背面の映像/音声入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルを**L1**にします。 ・BSチャンネルを登録していると、背面入力端子はAVコンピュリンクⅡ機能専用となり、**L1**を表示しません。 **L1**を表示するには、登録したBSチャンネルをすべてスキップしてください。	30 32 47

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

用語解説

▭ 内の数字が参照ページです。

ア

■**オートトラッキング** 29
再生時に出るノイズを、自動的に消します。自動調整でノイズが出るときは、手動で調節してください。

カ

■**外部入力** 30 32
本機を録画側にしてダビングする場合、接続した端子に合わせて入力切換ボタンでチャンネルを外部入力（L1、L2）にします。

タ

■**トラッキング調節** 29
再生画面にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞっていないためです。正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。

ハ

■**ぴったりクロック** 42
自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。

■**ビデオチャンネル** 40
映像・音声入力端子がないテレビをご使用のかたは、テレビを1または2チャンネルのうち、放送のないチャンネルをビデオチャンネルとして選びます。
本機背面のビデオチャンネルスイッチも、ビデオチャンネルに合わせて切り換えます。

マ

■**マスターエディットコントロール** 32
本機を録画側にしてビクタービデオムービーとダビングするとき、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。

ワ

■**ワンタッチタイマー録画**
録画中に録画時間を設定し、録画が終了すると自動的に電源が切れる機能です。

アルファベット

■**AV接続** 40
付属のビデオ、オーディオケーブルを使って、テレビとビデオを接続する方法です。

■**AVテレビ** 40
アンテナ入力端子の他に、映像・音声入力端子のあるテレビをいいます。

■**SQPB** 13
S-VHS Quasi（クワジ） Play（プレイ） Back（バック）の略です。S-VHSで録画されたテープを簡易的に見ることができる機能です。

■**VISSスキャン** 24
録画やタイマー録画の開始点に記録された頭出し信号を利用して、テープの頭出しをする機能です。

索引

□内の数字が参照ページです。

Hi-Fi VHS

お買い上げいただきありがとうございます。

後日のために記入しておいてください。

型　番	お買い上げの販売店
HR-D2	電話（　　　　）　　－
お買い上げ日	お近くのビクターサービス窓口
年　　月　　日	電話（　　　　）　　－

アフターサービスのお問合せ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。

お客様ご相談センター

東京…☎(03)5684-9311(代表)
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪…☎(06)765-4161(代表)
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

Victor　JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045)453-1111(代表)

SEP92　PU30424-395(SGEE)